



この
スタートは、
希望の
はじまり。

大分車いすマラソン2020

PROGRAM

OITA WHEELCHAIR MARATHON 2020

11.15 (SUN) 10:00 START

人を感じる。未来を思う。

人々のしあわせのために。よりよい社会の実現のために。
オムロンは、独自のテクノロジー「SENSING&CONTROL+THINK」で
社会的課題の解決に挑戦する企業です。
人や物を感じて制御する「SENSING&CONTROL」技術に、
思考する能力「THINK」を取り込んだ先進のテクノロジーは、
すでに暮らしや社会の様々なシーンで活躍しています。

たとえば「モノづくり」の現場では、AI技術による機械の故障予知や、
ロボット技術で人の能力を引き出すサポートを。
「ヘルスケア」では、血圧計などの生体モニタリング技術で集めた
バイタル情報や生活情報を活かし、個々の人に最適な医療支援・健康管理を。
そして、「ソーシャルソリューション」の領域では、
高度な交通制御システムや、エネルギーマネジメント技術により、
安心・安全・快適に生活できる社会インフラづくりを。

未来を担う次世代のために、今までにない価値を創造する。
技術で世の中を変えていく、オムロンのチャレンジがはじまります。

Innovation for Generating Values

オムロン



SENSING
& CONTROL
+ THINK

OMRON

大分車いすマラソン 2020

OITA WHEELCHAIR MARATHON
2020

目次 CONTENTS

- 3 大会会長あいさつ
- 4 コース全体図
- 7 スタート地点
- 8 舞鶴橋手前絞り込み地点
三佐田交差点
- 9 フィニッシュ地点周辺
- 10 大分市営陸上競技場見取図
- 11 注意事項
- 13 招待選手
- 17 マラソン出場選手
- 21 ハーフマラソン出場選手
- 41 審判長注意
- 42 実施要綱など
- 45 大分車いすマラソン2020開催に向けた基本方針
- 46 大分車いすマラソン2020における
新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル
- 49 大会役員
- 50 競技役員
- 52 大会スケジュール
- 53 スタート次第
- 54 大会記録など
- 57 大会エントリー状況
- 58 歴代優勝者とその記録
- 61 偉大な選手名鑑
- 62 協力者名簿

大会ホームページ

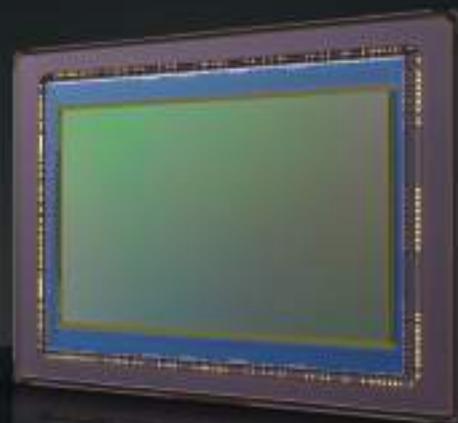
URL:www.kurumaisu-marathon.com

URL:www.wheelchair-marathon.com

SONY

イメージング& センシングソリューションで 未来を創る

ソニーのイメージセンサーは、スマートフォンやデジタルカメラ、自動車、監視カメラなど、世界中のさまざまなアプリケーションで使われており、現在、世界シェア(金額)は5割を超える世界No.1(ソニー調べ)です。イメージセンサーは、光を電気信号に変換する半導体です。イメージセンサーの性能は人間の眼を超え、未来に向けて今も進化を続けています。



ソニーセミコンダクタマニュファクチャリング株式会社
大分テクノロジーセンター



大分車いすマラソン2020
大会会長

大分県知事 **広瀬 勝貞**

大会会長あいさつ

1981年の国際障害者年に世界初の車いす単独のマラソン大会としてスタートした「大分国際車いすマラソン」は、これまで県民の皆様のご理解と温かいご支援のもと、世界パラ陸上競技連盟の公認大会として、世界のトップアスリートをはじめ国内外から多くの選手が集い、しのぎを削る世界最高峰の大会へと成長しました。

今年は、第40回記念大会として、これまで大会を支えていただいた多くのボランティアや関係者の皆様と共に盛大に開催する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、国際大会としての開催が困難であると判断し、残念ながら記念大会を来年へ延期しました。

しかしながら、国内外で競技会の中止や延期が相次ぎ、選手が日頃の努力の成果を発揮する機会が失われている中、日本の障がい者スポーツ発祥の地である大分として、車いすマラソンの灯を未来へとつないでいくことが大切だと考え、国内選手の参加に限定した大会を開催することとしました。

今大会は、新型コロナウイルス感染拡大予防対策のため、沿道での観戦・応援を自粛いただくなど、例年とは異なる形での開催となりますが、これまでと同様、白熱した真剣勝負が期待されます。ぜひ、県民やパラアスリートの皆様のみならず広く国内外の方々に、テレビ中継やインターネット中継等を通じて選手の皆様の英姿をご覧いただき、スポーツの素晴らしさと、未来への確かな歩みを実感いただければ幸いです。

「このスタートは、希望のはじまり。」

2020年11月15日、大分から世界へ、希望をお届けします！

沿道での応援は自粛をお願いします



● 関門 Checkpoint
 ● 給水 Water Point

マラソンのポイント通過予想時刻 Pace of Marathon

	位置	トップ Top	ラスト Last	関門	給水
スタート	大分県庁前	10:00			
5 km	大友宗麟像前	10:09	10:30	●	
第一折返し点	王子港町	10:10	10:32		
10km	大州浜交差点	10:18	10:45		●
15km	ひろかわ和洗手前8m	10:28	11:00	●	
20km	大野川大橋大在寄88m	10:37	11:23		●
中間点	舞子橋先51m	10:40	11:28		
25km	久原橋手前29m	10:47	11:46		
マラソン第二折返し点	久原・三井造船入口手前290m	10:49	11:50		
30km	阿南工業前	10:56	12:00	●	●
35km	小野建株式会社前	11:06	12:35		
40km	レオハウス展示場前	11:15	12:55		●
フィニッシュ	大分市営陸上競技場	11:20	13:00	●	

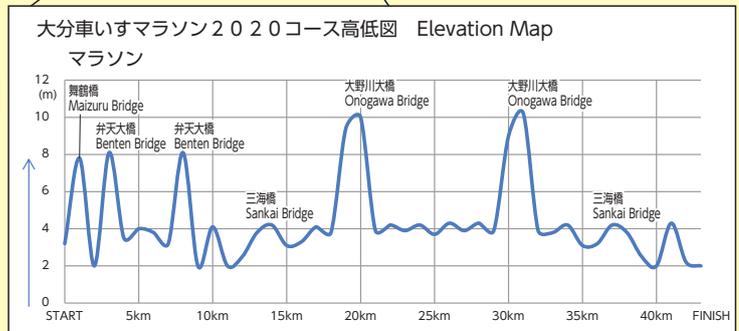
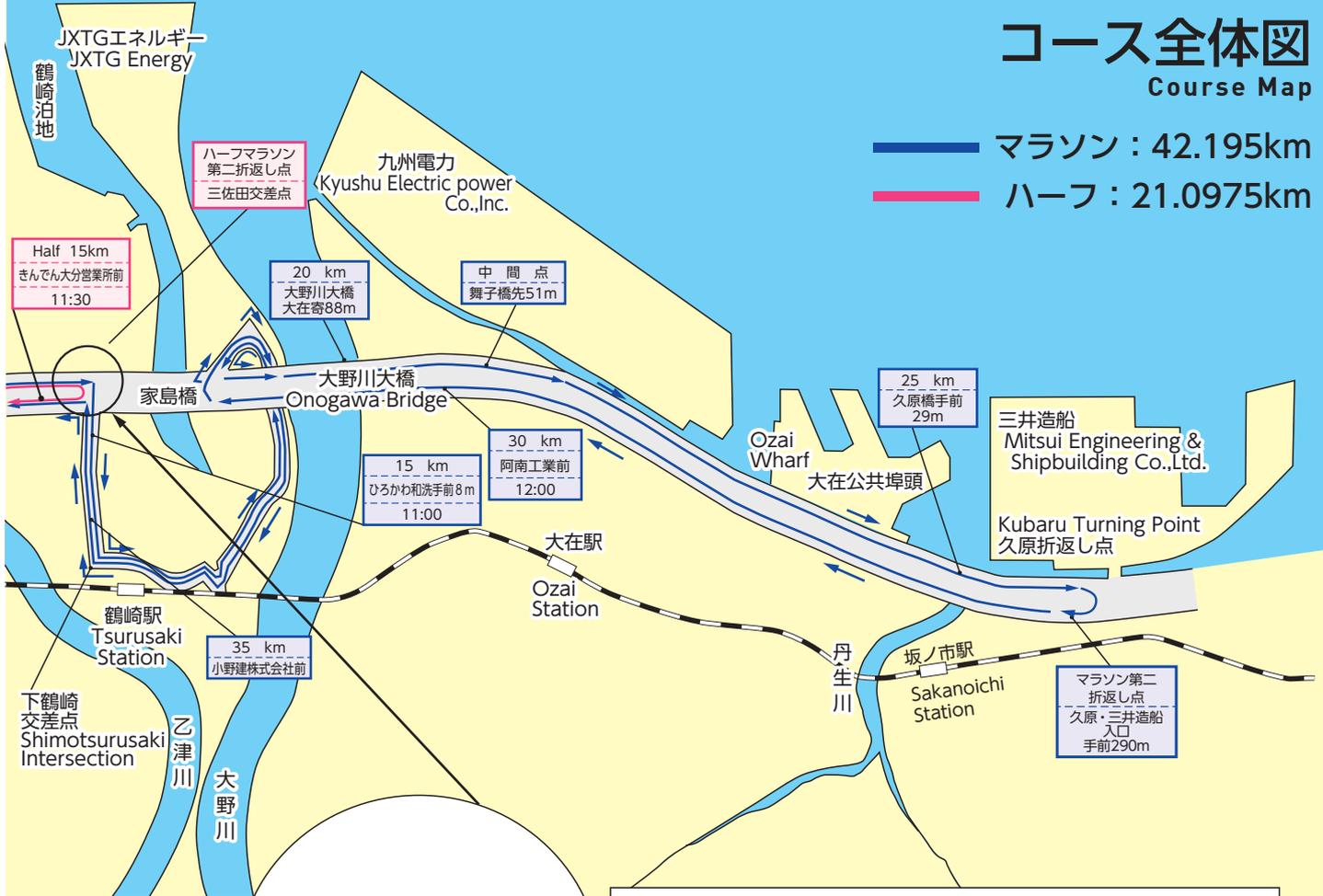
大分車いすマラソン2020

OITA WHEELCHAIR MARATHON 2020

コース全体図

Course Map

マラソン : 42.195km
 ハーフ : 21.0975km



ハーフマラソンのポイント通過予想時刻 Pace of Half Marathon

● 関門 Checkpoint ● 給水 Water Point

	位置	トップ Top	ラスト Last	関門	給水
スタート	大分県庁前	10:03			
5km	NTTデータ前	10:13	10:33	●	
第一折返し点	王子港町	10:14	10:35		
10km	理容ポスト前	10:24	11:00	●	●
ハーフマラソン第二折返し点	三佐田交差点	10:33	11:29		
15km	きんでん大分営業所前	10:34	11:30	●	
20km	大分商業高校前	10:45	12:07		●*
フィニッシュ	大分市営陸上競技場	10:48	12:10	●	

*マラソン40km給水地点と同じポイント Same water point as Marathon 40km.

HONDA

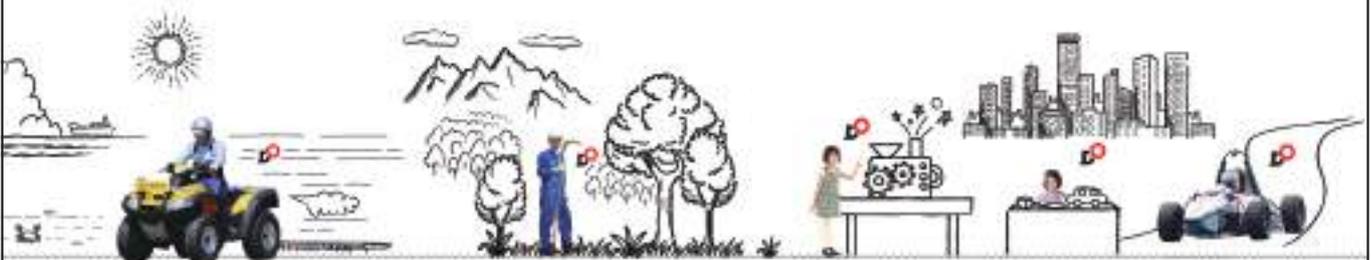


夢のある明日の社会づくりをめざして

Hondaは、夢のある明日の社会づくりをめざし
地域のみなさまと手をたずさえて
さまざまな活動を進めています。

つくろう。今日よりもっといい明日を。

詳しくはこちら



夢へ翔ける
仲間と共に

車いす生活に前向きになれなかった青年。
車いすマラソンに会い、
仲間たちとの夢への挑戦が始まる。

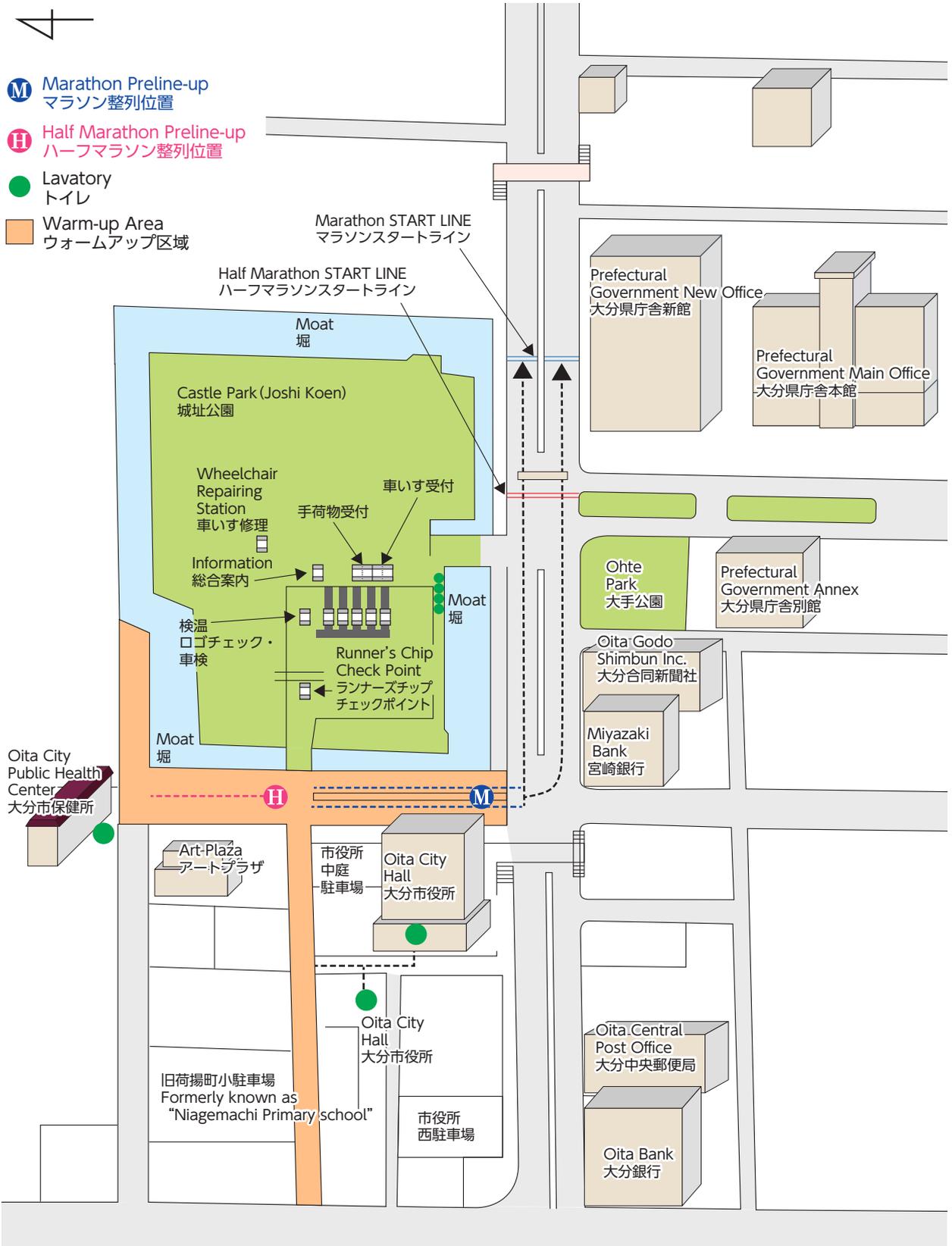


車いすレーサー開発物語
マンガ公開中!

Webでチェック!

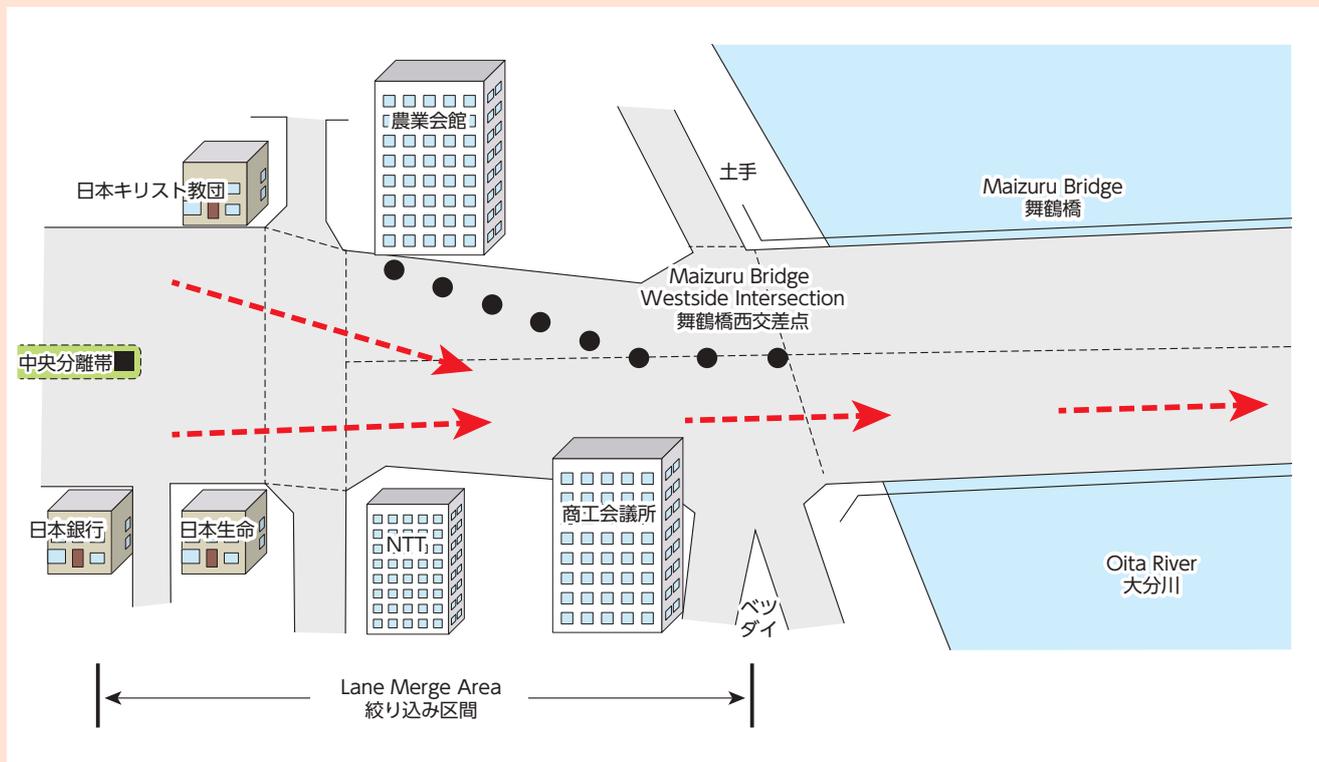


スタート地点 Starting Area



舞鶴橋手前絞り込み地点

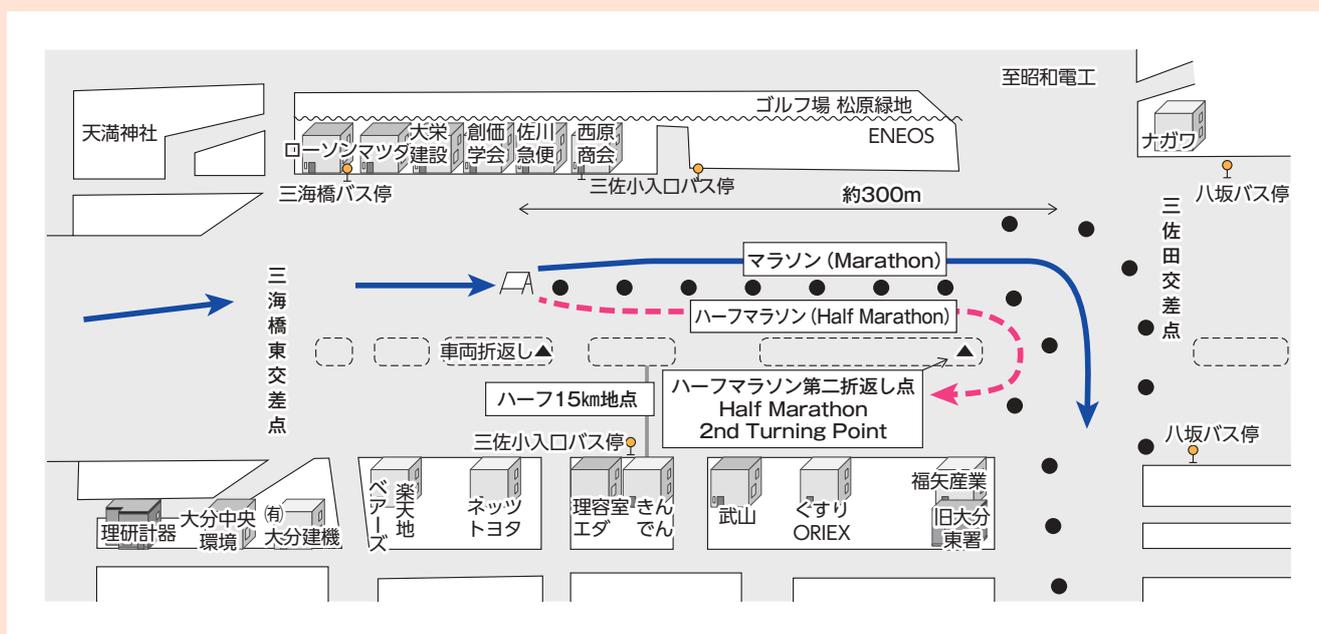
Lane Merge Area (just before the Maizuru Bridge)



全車線を使用してスタートしますが、約800メートル先の上記地点（舞鶴橋手前）で右側車線に絞り込みを行いますので、十分注意してください。
All athletes must merge into the two right lanes at a point about 800m before the Maizuru Bridge.

三佐田交差点(マラソン右折、ハーフマラソン第二折返し点)

Misada Intersection (Marathon; turn right, Half Marathon; turn at the Half Marathon 2nd Turning Point)

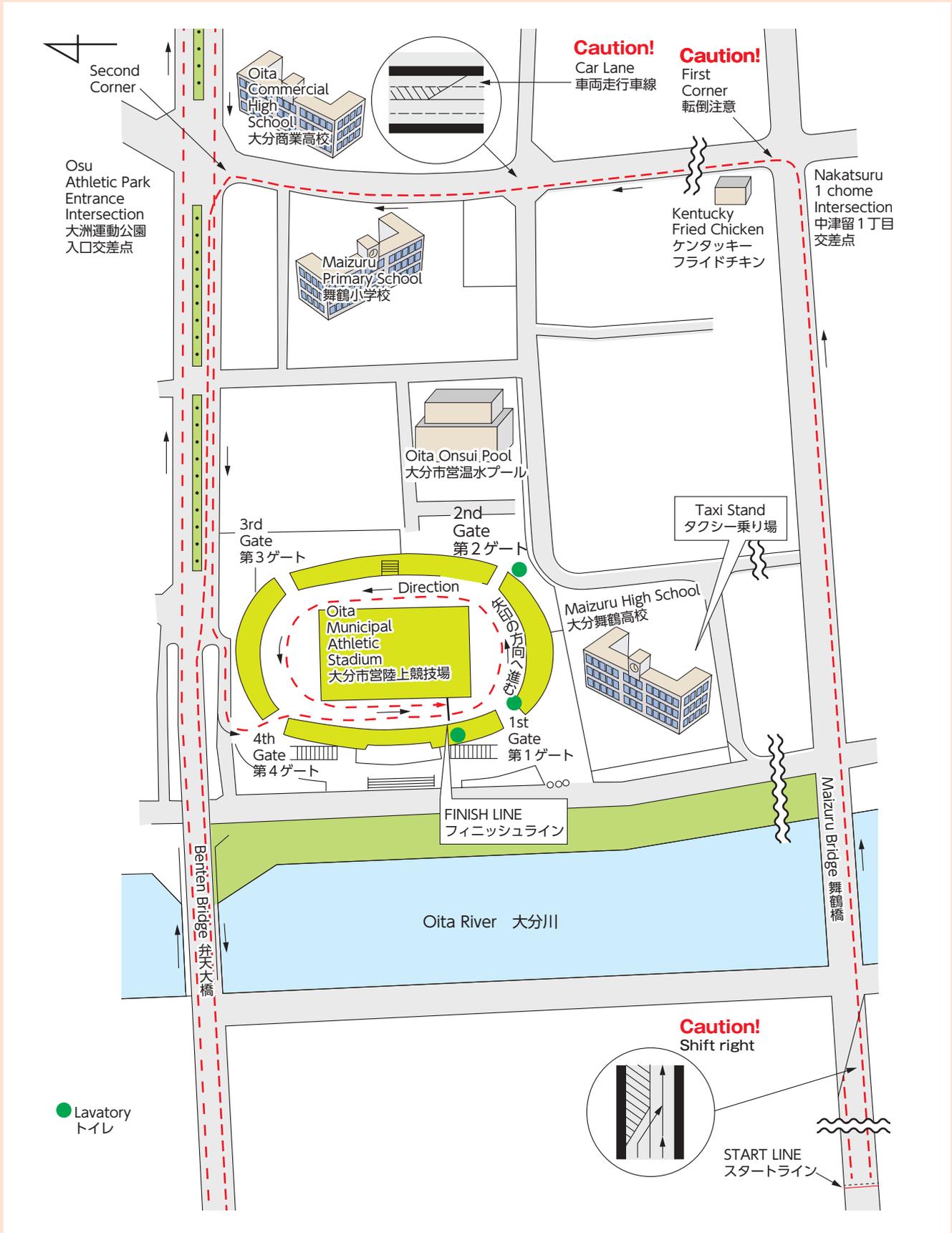


三佐田交差点（マラソン右折、ハーフマラソン第二折返し点）約300m手前から、マラソンの選手は真ん中の車線、ハーフマラソンの選手は中央よりの車線に分かれます。係員の指示に従うとともに走行には十分注意してください。

At the point about 300m before the Misada Intersection, Marathon participants will shift into the middle lane and Half Marathon participants into the inner lane (median strip side). Please race carefully, following instructions given by race officials.

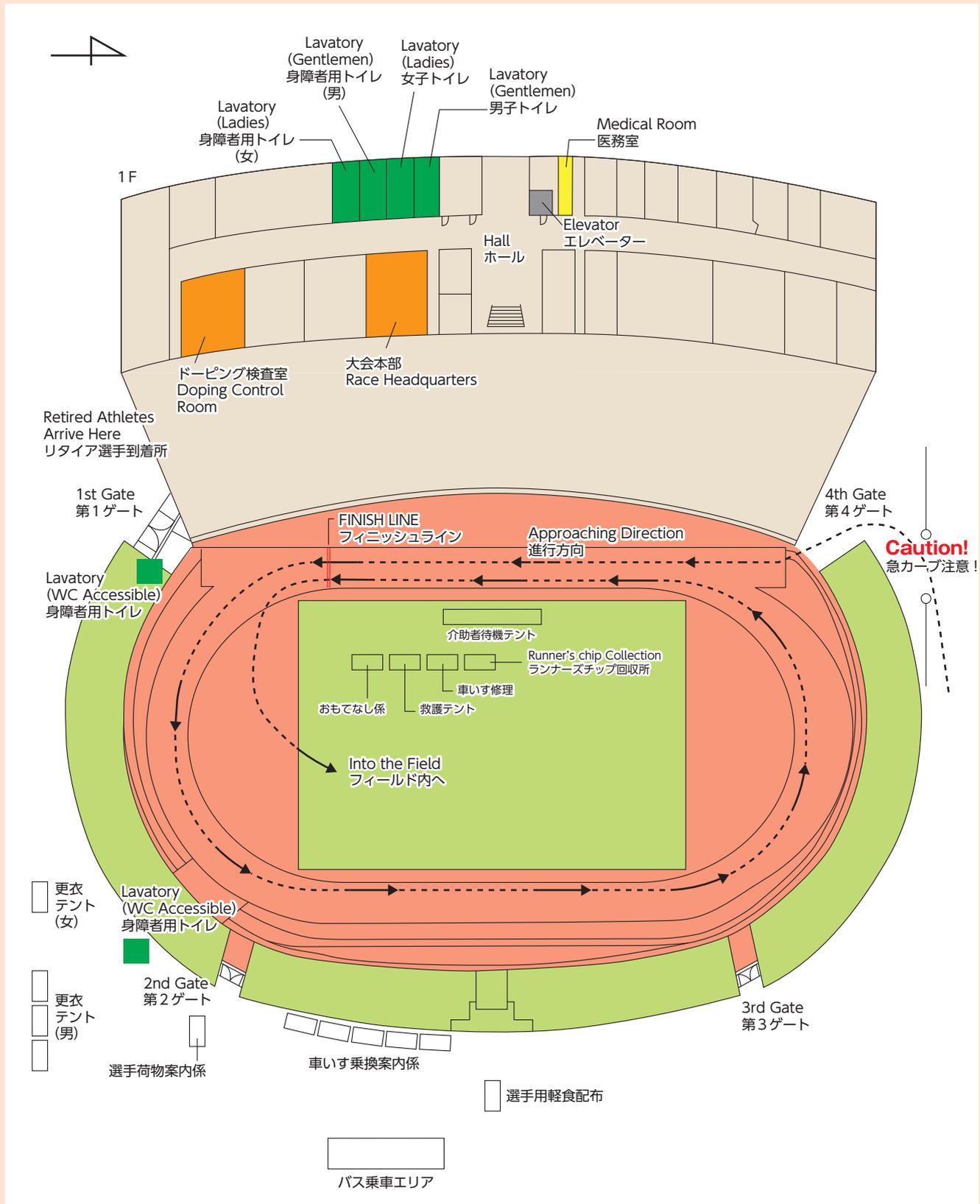
フィニッシュ地点周辺

Finish Area



大分市営陸上競技場見取図

Map of Oita Municipal Athletic Stadium



注 意 事 項

- ウォームアップ及びラインアップについて（7ページの図参照）
 - レース当日のウォームアップは、城址公園西の指定コースで行ってください。（8:00～9:25）
 - トイレは、城址公園内に4ヶ所、大分市役所内に2ヶ所、大分市保健所内に1ヶ所あります。
 - ラインアップ前の整列待機所は、マラソン、ハーフマラソンとも大分市役所東側道路です。それぞれ係員の指示に従ってください。
- コースは舞鶴橋手前の上り坂で**右側車線に絞ります**。
- 各地点ごとの給水地点では、水のみ提供します。
- マラソンは午後1時に、ハーフマラソンは午後12時10分にフィニッシュラインを通過していない選手は、完走したと認められません。
- 車いすと手荷物を預ける時には、それぞれに必ず荷札をつけ、アスリートビブス（No.）と名前、都道府県名を記入してください。
なお、競技用車いすを預ける時には、荷札の「レース用車いす」欄に必ず印を付けてください（「城址公園」又は「ホテル」）。なお、ホテルへの搬送を希望する方は、宿泊ホテル名を必ず記入してください。
- 手荷物及び車いすの受取りは、必ず引換券を提示してください。
- レースでは、ランナースチップを使用して記録計測を行います。
使用方法に誤りがあると、正しい記録が計測されない場合があります。下記の注意事項をよく読んで、ご参加ください。
ランナースチップは回収いたします。選手受付時にランナースチップを受け取って、出走されない方は、チップを大会事務局まで必ず返却してください。
 - 選手受付後、アスリートビブス等と一緒に、前輪フレーム用2個をお渡しします。自分のアスリートビブスナンバーと、ランナースチップに貼ってあるシールナンバーは、同一の番号です。ご確認ください。万一異なる場合は、係員までご連絡ください。

アスリートビブス(旧ナンバーカード)の取付について

アスリートビブス(ナンバーカード)配布種類

布製ひも付き	1枚	シール(大)	1枚
シール(中)	1枚	シール(小)	3枚

※アスリートビブスは前日受付の際に配布いたします。
※布製ひも付き/シール大はどちらか1つを選んで取り付けてください。

取付先	種類(カード)	アスリートビブス、クラス分けマークの取付位置	図
競技用車いす (レーサー)	布製ひも付き	自分の背中、または背シート	1
	シール(大)	自分の背中、または背シート	1
	シール(中)	ヘルメットの正面から頭頂部	2
	シール(小)2枚	レーサーフレームの左右に1枚ずつ	3
衣類	シール(小)1枚	プレラインアップ時に脱いで係員に預ける衣類	—

※上記の種類を下記の図を参考に取付をお願いします。
※配布された大きさのまま取付けてください。折り曲げ・切取は禁止です。



図1
Figure 1



図2
Figure 2

レーサーフレーム前部の左右に一枚ずつ。



図3
Figure 2

注 意 事 項

- (2) ランナーズチップは個々に登録されています。他人のチップ、異なる種類のチップを装着すると記録は計測されません。ランナーズチップの入れ替わりに十分注意してください。
- (3) レーススタート前に、城址公園でランナーズチップを装着した状態で、チェックを受けてください。
- (4) フィニッシュ後、ランナーズチップを係員が回収します。必ずご返却をお願いします。

ランナーズチップの取付について

1. 取付場所

2つのチップをレーサー①部分(フロントフォーク)の左右に1つずつ取付けてください。

①前輪フレーム(フロントフォーク)への取付

競技用車いすの前輪フレーム(フロントフォーク)のなるべく前輪の中心部分に近い部分の左右に1つずつ取付けてください。

※取付け後、余分な結束バンドははさみ等で切り取ってください。



2. 取付手順

- (1) 黒色の緩衝材のついていない側に、2本の「透明結束バンド」を通す。
通す際は、既についている**黒色のバンドの内側を通す**ようにしてください。
- (2) (1)の「透明製結束バンド」で競技用車いすのフレームに固定する。
注) 結束バンドは、一度締めると抜けません。



- 図①
(フロントフォーク)
- 図②
(背シート補強バー)

招待選手

Invited Athletes

マラソン男子

T33/52



上与那原 寛和

UEYONABARU HIROKAZU

都道府県名
沖縄県

主な記録

- 第39回大会1位

T34/53/54



鈴木 朋樹

SUZUKI TOMOKI

都道府県名
東京都

主な記録

- 第39回大会2位
- IPCマラソン男子T54
2020世界ランキング1位



山本 浩之

YAMAMOTO HIROYUKI

都道府県名
福岡県

主な記録

- 第39回大会6位
- IPCマラソン男子T54
2020世界ランキング3位



吉田 竜太

YOSHIDA RYOTA

都道府県名
東京都

主な記録

- 第39回大会8位
- IPCマラソン男子T54
2020世界ランキング12位

マラソン女子



喜納 翼

KINA TSUBASA

都道府県名
沖縄県

主な記録

- 第39回大会2位
- IPCマラソン女子T54
2020世界ランキング1位



土田 和歌子

TSUCHIDA WAKAKO

都道府県名
東京都

主な記録

- 第39回大会4位

DREAM AS ONE.

ともに一つになり、夢に向かって。

私たちは、障がい者スポーツの発展を応援し、
たくさんの人と夢と感動を分かち合いたい、と願っています。



三菱商事は日本障がい者スポーツ協会のオフィシャルパートナーです。

 三菱商事



DENSO
Crafting the Core

目立たなくてもいい。
役立つことを
どんどんするのだ。



タルマの中から、
みんなを笑顔に。

マラソン出場選手

Marathon Entrants

アスリートビブス
001～022

マラソン出場選手 Marathon Entrants

①年齢(性別) ②都道府県名

No. 001



鈴木 朋樹

SUZUKI TOMOKI

①26歳(男)
②東京都

No. 002



渡辺 勝

WATANABE SHO

①28歳(男)
②福岡県

No. 003



山本 浩之

YAMAMOTO HIROYUKI

①54歳(男)
②福岡県

No. 004



西田 宗城

NISHIDA HIROKI

①36歳(男)
②大阪府

No. 005



吉田 竜太

YOSHIDA RYOTA

①39歳(男)
②東京都

No. 006



洞ノ上 浩太

HOKINOUE KOTA

①46歳(男)
②福岡県

No. 007



副島 正純

SOEJIMA MASAZUMI

①50歳(男)
②長崎県

No. 008



吉田 高志

YOSHIDA TAKASHI

①42歳(男)
②大阪府

No. 009



河室 隆一

KAWAMURO RYUICHI

①47歳(男)
②大分県

No. 010



樋口 政幸

HIGUCHI MASAYUKI

①41歳(男)
②千葉県

No. 011



武村 浩生

TAKEMURA KOKI

①32歳(男)
②福岡県

No. 012



佐藤 健

SATO KEN

①37歳(男)
②埼玉県

No. 013



西原 宏明

NISHIHARA HIROAKI

①40歳(男)
②京都府

No. 014



笹原 廣喜

SASAHARA HIROKI

①46歳(男)
②大分県

No. 015



辰巳 晃一

TATSUMI KOUICHI

①56歳(男)
②愛知県

No. 016



藤原 修

FUJIWARA OSAMU

①57歳(男)
②大分県

No. 017



海野 剛

UNNO TAKESHI

①45歳(男)
②静岡県

No. 018



樋栄 聖

HIE KIYOSHI

①47歳(男)
②大阪府

No. 019



喜納 翼

KINA TSUBASA

- ①30歳(女)
- ②沖縄県

No. 020



土田 和歌子

TSUCHIDA WAKAKO

- ①46歳(女)
- ②東京都

No. 021



佐藤 友祈

SATO TOMOKI

- ①31歳(男)
- ②岡山県

No. 022



上与那原 寛和

UEYONABARU HIROKAZU

- ①49歳(男)
- ②沖縄県

FUJITSU



あなたの見えないところで、人をつなぐ。

さまざまな物語を、つなぐ。

夢のある明日に、つなげる。

ICTで、世の中を元気に。

shaping tomorrow with you
社会とお客様の豊かな未来のために

株式会社 **富士通エフサス**

富士通エフサスは「大分車いすマラソン 2020」を応援しています。

ハーフマラソン出場選手

Half Marathon Entrants

アスリートビブス
301～385

ハーフマラソン出場選手 Half Marathon Entrants

①年齢(性別) ②都道府県名

No. 301



久保 恒造

KUBO KOZO

①39歳(男)
②北海道

No. 302



百武 強士

HYAKUTAKE TSUYOSHI

①34歳(男)
②佐賀県

No. 303



渡辺 習輔

WATANABE SHUSUKE

①52歳(男)
②大分県

No. 304



大津 圭介

OTSU KEISUKE

①53歳(男)
②福岡県

No. 305



寒川 進

KANGAWA SUSUMU

①52歳(男)
②京都府

No. 306



田中 祥隆

TANAKA YOSHITAKA

①45歳(男)
②福岡県

No. 307



廣道 純

HIROMICHI JUN

①46歳(男)
②大分県

No. 308



松永 仁志

MATSUNAGA HITOSHI

①48歳(男)
②岡山県

No. 309



岸澤 宏樹

KISHIZAWA HIROKI

①24歳(男)
②大阪府

No. 310



木村 勇聖

KIMURA YUUSEI

①21歳(男)
②長崎県

No. 311



城間 圭亮

SHIROMA KEISUKE

①24歳(男)
②長崎県

No. 312



炭谷 延幸

SUMITANI NOBUYUKI

①43歳(男)
②福岡県

No. 313



橋本 優樹

HASHIMOTO YUKI

①37歳(男)
②福岡県

No. 314



佐々木 凜平

SASAKI RINPEI

①24歳(男)
②東京都

No. 315



中山 和美

NAKAYAMA KAZUMI

①37歳(女)
②北海道

No. 316



中井 康彦

NAKAI YASUHIKO

①41歳(男)
②大阪府

No. 317



用田 竹司

YODA TAKESHI

①44歳(男)
②京都府

No. 318



岩下 啓三

IWASHITA KEIZO

①45歳(男)
②熊本県

No. 319



脇山 陸久

WAKIYAMA RIKU

①22歳(男)
②佐賀県

No. 320



山北 泰士

YAMAKITA TAISHI

①22歳(男)
②佐賀県

No. 321



佐野 純一郎

SANO JUNICHIRO

①39歳(男)
②京都府

No. 322



渡邊 敏貴

WATANABE TOSHIKI

①53歳(男)
②東京都

No. 323



安川 祐里香

YASUKAWA YURIKA

①27歳(女)
②沖縄県

No. 324



小玉 結一

KODAMA YUICHI

①21歳(男)
②大分県

No. 325



能島 孝洋

NOUJIMA TAKAHIRO

①38歳(男)
②岡山県

No. 326



三浦 智晴

MIURA TOMOHARU

①53歳(男)
②大分県

No. 327



西原 健一

SAIBARA KENICHI

①57歳(男)
②高知県

No. 328



山本 秀明

YAMAMOTO HIDEAKI

①44歳(男)
②広島県

No. 329



萩原 孝幸

HAGIWARA TAKAYUKI

①44歳(男)
②兵庫県

No. 330



鈴木 俊光

SUZUKI TOSHIMITSU

①64歳(男)
②静岡県

No. 331



内賀島 守

UCHIGASHIMA MAMORU

①59歳(男)
②熊本県

No. 332



友岡 昭二

TOMOOKA SHOJI

①65歳(男)
②愛知県

No. 333



松尾 健次

MATSUO KENJI

①52歳(男)
②佐賀県

No. 334



城 隆志

JO TAKASHI

①60歳(男)
②大分県

No. 335



山崎 正一

YAMASAKI SHOICHI

①61歳(男)
②高知県

No. 336



櫻井 秀彦

SAKURAI HIDEHIKO

①43歳(男)
②静岡県

ハーフマラソン出場選手 Half Marathon Entrants

No. 337



馬場 和也

BABA KAZUYA

①40歳(男)
②京都府

No. 338



伊藤 竜也

ITO TATSUYA

①34歳(男)
②福井県

No. 339



佐藤 隆信

SATO TAKANOBU

①58歳(男)
②大分県

No. 340



小川 敬

OGAWA TAKASHI

①62歳(男)
②宮崎県

No. 341



新地 亮平

SHINCHI RYOHEI

①39歳(男)
②鹿児島県

No. 342



田中 浩貴

TANAKA HIROKI

①28歳(男)
②兵庫県

No. 343



中尾 柁太

NAKAO SYUTA

①16歳(男)
②福岡県

No. 344



後 義春

USHIRO YOSHIHARU

①64歳(男)
②福井県

No. 345



松浦 正治

MATSUURA SHOJI

①67歳(男)
②宮崎県

No. 346



市野 隆

ICHINO TAKASHI

①62歳(男)
②静岡県

No. 347



高田 稔浩

TAKADA TOSHIHIRO

①55歳(男)
②福井県

No. 348



吉川 勇

YOSHIKAWA ISAMU

①67歳(男)
②大分県

No. 349



木山 由加

KIYAMA YUKA

①36歳(女)
②岡山県

No. 350



原田 耕一

HARADA KOICHI

①63歳(男)
②大分県

No. 351



野々村 知幸

NONOMURA TOMOYUKI

①53歳(男)
②愛知県

No. 352



酒井 俊二

SAKAI SHUNJI

①67歳(男)
②愛知県

No. 353



後藤 忠正

GOTO TADAMASA

①65歳(男)
②熊本県

No. 354



見崎 真未

MISAKI MAMI

①18歳(女)
②熊本県

No. 355



柴田 凌

SHIBATA RYO

①26歳(男)
②大分県

No. 356



野田 浩二

NODA KOJI

①53歳(男)
②大分県

No. 357



岩上 豪一

IWAGAMI GOUICHI

①57歳(男)
②鳥取県

No. 358



前原 彰太郎

MAEHARA SHOTARO

①30歳(男)
②宮崎県

No. 359



飯嶋 毅洋

IIJIMA TAKEHIRO

①42歳(男)
②大阪府

No. 360



小出 公典

KOIDE KIMINORI

①47歳(男)
②大分県

No. 361



松尾 充浩

MATSUO MITSUHIRO

①43歳(男)
②大阪府

No. 362



宇佐見 保弘

USAMI YASUHIRO

①54歳(男)
②大阪府

No. 363



川久保 一馬

KAWAKUBO KAZUMA

①70歳(男)
②佐賀県

No. 364



宮田 実

MIYATA MINORU

①70歳(男)
②福岡県

No. 365



井崎 英明

IZAKI HIDEAKI

①51歳(男)
②大分県

No. 366



斉藤 竜一

SAITO RYUICHI

①20歳(男)
②大分県

No. 367



辻野 春翔

TSUJINO HARUTO

①15歳(男)
②福岡県

No. 368



川添 圭介

KAWASOE KEISUKE

①36歳(男)
②宮崎県

No. 369



西島 健一郎

NISHIJIMA KENICHIRO

①56歳(男)
②熊本県

No. 370



櫻井 悠也

SAKURAI YUYA

①27歳(男)
②愛知県

No. 371



吉廣 匡介

YOSHIHIRO KYOSUKE

①57歳(男)
②大分県

No. 372



片平 留依

KATAHIRA RUI

①27歳(女)
②福岡県

ハーフマラソン出場選手 Half Marathon Entrants

No. 373



西山 美沙希

NISHIYAMA MISAKI

- ①20歳(女)
- ②大分県

No. 374



中崎 真

NAKAZAKI MAKOTO

- ①51歳(男)
- ②鹿児島県

No. 375



佐伯 秋浩

SAIKI AKIHIRO

- ①53歳(男)
- ②愛媛県

No. 376



横田 茂

YOKOTA SHIGERU

- ①63歳(男)
- ②石川県

No. 377



村田 成謙

MURATA SHIGENORI

- ①36歳(男)
- ②大阪府

No. 378



今井 義隆

IMAI YOSHITAKA

- ①39歳(男)
- ②大阪府

No. 379



尾島 宏治

OJIMA KOJI

- ①40歳(男)
- ②大分県

No. 380



清原 大輝

KIYOHARA TAIKI

- ①16歳(男)
- ②宮崎県

No. 381



仲泊 厚志

NAKADOMARI ATSUSHI

- ①15歳(男)
- ②沖縄県

No. 382



遠山 勝元

TOYAMA KATSUMOTO

- ①14歳(男)
- ②千葉県

No. 383



大西 慶尚

ONISHI YOSHIHISA

- ①28歳(男)
- ②兵庫県

No. 384



立川 隼

TACHIKAWA SHUN

- ①14歳(男)
- ②大分県

No. 385



宇賀治 孝一

UGAJI KOICHI

- ①83歳(男)
- ②大分県



power
to
innovation

FUJITSU

あくなき挑戦。革新への力。

戦略性、スピード、判断力が必要とされる
アメリカンフットボール。

富士通フロンティアーズは、要求される能力を高いレベルで実現し、
勝利に向けてあくなき挑戦を続けています。

目指すビジョンに向かって挑み続ける、その姿勢こそ
富士通グループのDNAです。

富士通グループは、常に変革に挑戦し、快適で安心できる
ネットワーク社会づくりと人にやさしい豊かな社会の実現をめざします。

shaping tomorrow with you

富士通コンタクトライン (総合窓口) 0120-933-200
(土・日・祝日・当社指定の休業日を除く 9:00-17:30)



未来をつくる、 新しいをつくろう。

社名にある「新」という言葉。
そこに込めているのは、私たちからの約束。

あなたの明日を、
明るさにあふれたものにするために。
いまの常識にとらわれない「新しい」を、
一人ひとりに届けていきます。

 **新日本製薬**



感動を、 シェアしたい。

夢を共に分かちあう。厳しさを共に実感する。

長い時間を共に過ごし、考え抜き、とことん話し合う。

それも、ひとりの行員とお客さまという関係を越え、

何としてもお役に立ちたいという、執念に近い情熱。

アイデアにあふれ、期待に応える提案。

また、ひとりの人間としての信頼。

そこで、はじめて、強い絆が生まれる。

やりきること。挑戦すること。諦めないこと。

そして、地域の皆さまやお客さまと、その発展・成功を共に喜び、

「大分銀行で良かった」と感動して頂くこと。

それが私たちの、感動です。

 **大分銀行**

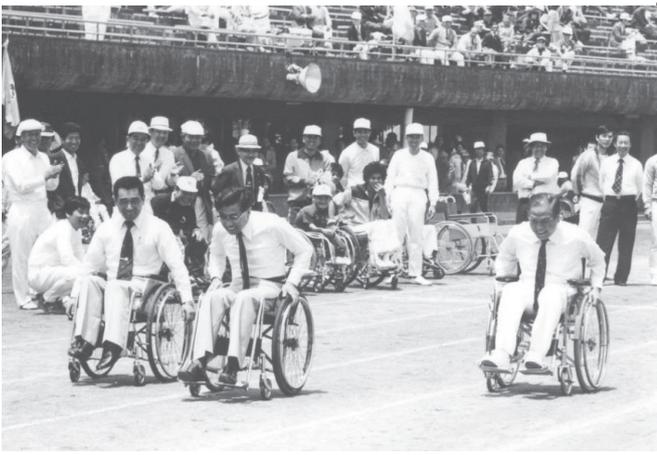


明野中央病院
AKENO CENTRAL HOSPITAL

Yutaka Nakamura Memorial Hospital

Founder Dr. Yutaka Nakamura
明野中央病院 創設者 中村 裕
Advocate of Oita International
Wheelchair Marathon Competition
Father of Japanese Paralympics

Orthopaedic Surgery 整形外科
Spine Surgery 脊椎外科



Mr. Morihiko Hiramatsu (right), Former Governor Oita Prefecture with Dr. Yutaka Nakamura (left)
平松守彦 前大分県知事(右)と大会提唱者 中村 裕



Dr. Yutaka Nakamura realized Tokyo Paralympic 1964, the starting point of Japanese para-sports and served as the head of Japanese team.
中村裕は日本のパラスポーツの原点である東京パラリンピック(1964年)を実現し、日本選手団長を務めた



Oita City, Akeno Higasi 2-7-33 TEL 097-558-3211

President : Dr. Eijiro Nakamura

私たちの仕事は
建物に命を吹き込む
仕事です。

この街と
一緒に生きる。

Make Next.
九電工

株式会社 九電工 大分支店

〒870-0933 大分市花津留2丁目25-16
TEL : 097-553-2561



自然や環境に対する子どもたちの意識を高める
写真教室「ジュニア・フォトグラファーズ」



多くの人に感動と勇気を与える世界最大級の
車いすマラソン大会「大分国際車いすマラソン」

喜びや感動を、みなさまと。

すべての人々が、豊かに暮らしていける社会のために。
キヤノンは、芸術、文化、教育、スポーツなど、
さまざまな社会貢献活動を行っています。

Canon

make it possible with canon



SHIPS

私たちSHIPSが大切にしていること、
それはファッションを通じてすべての人々へ
共感と感動を送る企業であり続けることです。

株式会社シップスは、大分車いすマラソン2020を応援しています。

<http://www.shipsltd.co.jp>

生命保険は、愛する家族への想い。

そして、保険金をお届けすることが私たちの使命です。

“As safe as the Rock” ～ジブラルタ・ロックのように安心～

ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8km、高さ400mにもおよぶ巨大な岩山“ジブラルタ・ロック”が、ジブラルタ生命の社名の由来です。

親会社プルデンシャル・ファイナンシャルのシンボルである“ジブラルタ・ロック”は、
時を経ても変わることのない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。



ジブラルタ生命保険株式会社 大分支社

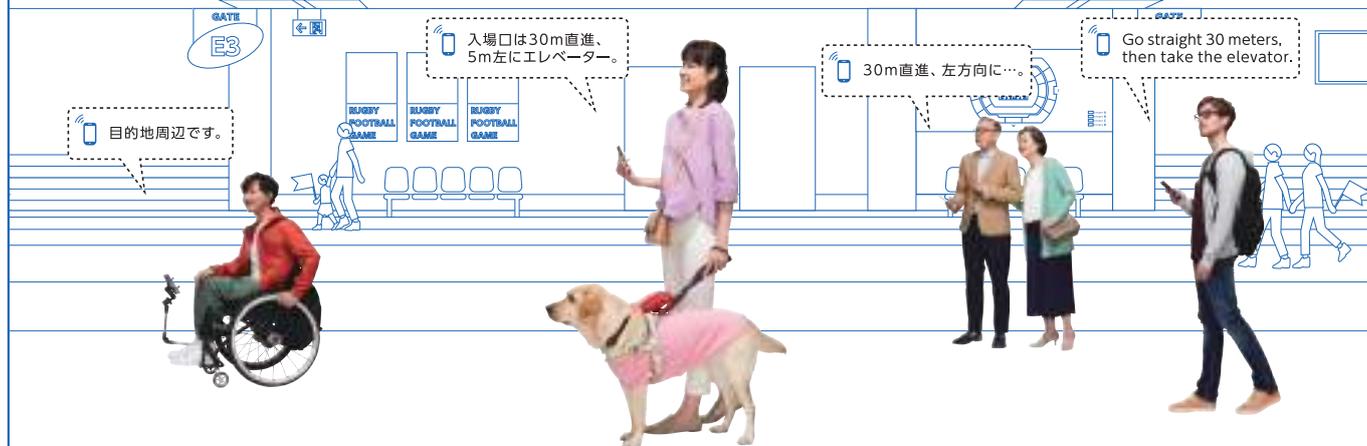
〒870-0047 大分県大分市中島西1-5-2ジブラルタ生命大分ビル4F tel. 097-534-9457

【コールセンター】0120-37-2269 （ジブラルタ生命ホームページ） <https://www.gib-life.co.jp/>

【受付時間】平日 9:00～18:00 土曜 9:00～17:00（日曜・祝日・12/31～1/3を除く）携帯電話・PHSからもご利用いただけます。通話料無料。



清水建設は、誰もが暮らしやすい
インクルーシブな社会づくりを目指しています。



すべての人が活き活きと輝くことのできる、社会の実現を目指して。

子どもたちに誇れるしごとを。



音声ナビゲーションシステム/インクルーシブ・ナビ
スマートフォンを活用し、目的地までの経路を詳細に案内する
高精度な音声ナビゲーションシステムを、日本IBM(株)東京
基礎研究所と共同開発。バリアフリーな街づくりに向け、視覚
障がい者、車いす利用者向けのほか、外国語にも対応します。

インクルーシブな社会…
あらゆる壁をなくして、すべての人が参加できる社会



清水建設は、日本障がい者スポーツ協会を応援しています。

SHIMIZU CORPORATION
清水建設

おくすりの**安全と安心**のために あなたの身近な**薬剤師**がサポートします

あなたの近くに
すぐそばに



公益社団法人
大分県薬剤師会
Oita Pharmaceutical Association



私達は、大分車いすマラソン2020を応援します。

マルミヤストアグループは大分車いすマラソン2020を応援しています



株式会社

マルミヤストア



皆様の暮らしのすぐそばで 豊かな食生活と健やかな暮らしをサポート致します

代表取締役 池邊 恭行

本社 大分県佐伯市野岡町二丁目1番10号

TEL 0972-23-8111 FAX 0972-24-3188

ご近所のマルミヤストアは WEB で検索! www.marumiya-st.jp

マルミヤストア

検索

Click!



大分県を中心に 87店舗



マルミヤストア



株式会社
新鮮マーケット



スーパーディスカウントストア
アタックス



空にも、
新しい日常を。

空の旅の新しいスタンダード、
ANAから始まります。

詳しくはANAウェブサイトをご確認ください。

ANA 新型コロナ対策

検索

ANAグループは「大分車いすマラソン2020」を応援しています。

ANA
Inspiration of JAPAN



笑顔が広がる未来へ
～JA共済の地域貢献活動～

皆さまが健康で安心して、
笑顔で暮らせる地域社会をめざして。
JA共済は、

ひと
いえ
くるま
くらし・農業

に関する、さまざまな
地域貢献活動に取り組んでいます。

JA共済が実施する「生活総合保障の提供」と「地域貢献活動」は車の両輪の関係。相互に機能することにより「安全・安心」の輪を広げました。これまでも、そしてこれからも「安全」と「安心」そして「満足」をお届けします。



レインボー介護



災害シート



親と子の交通安全ミュージカル
(興法地区マールワタル)



中・高校生向け
自転車交通安全教室



高齢・交通安全
ポスターコンクール

JA共済の地域貢献活動 2020 10月10日現在

ちいさきさすな 保険 株式会社 JA共済

私たちJA共済は「大分車いすマラソン 2020」を応援しています」

お客様支持No.1企業へ



福岡ソフトバンクホークス
今宮 健太 #6
©SoftBank HAWKS



不動産の
総合デパート



BETSUDAI
KŌHSAN

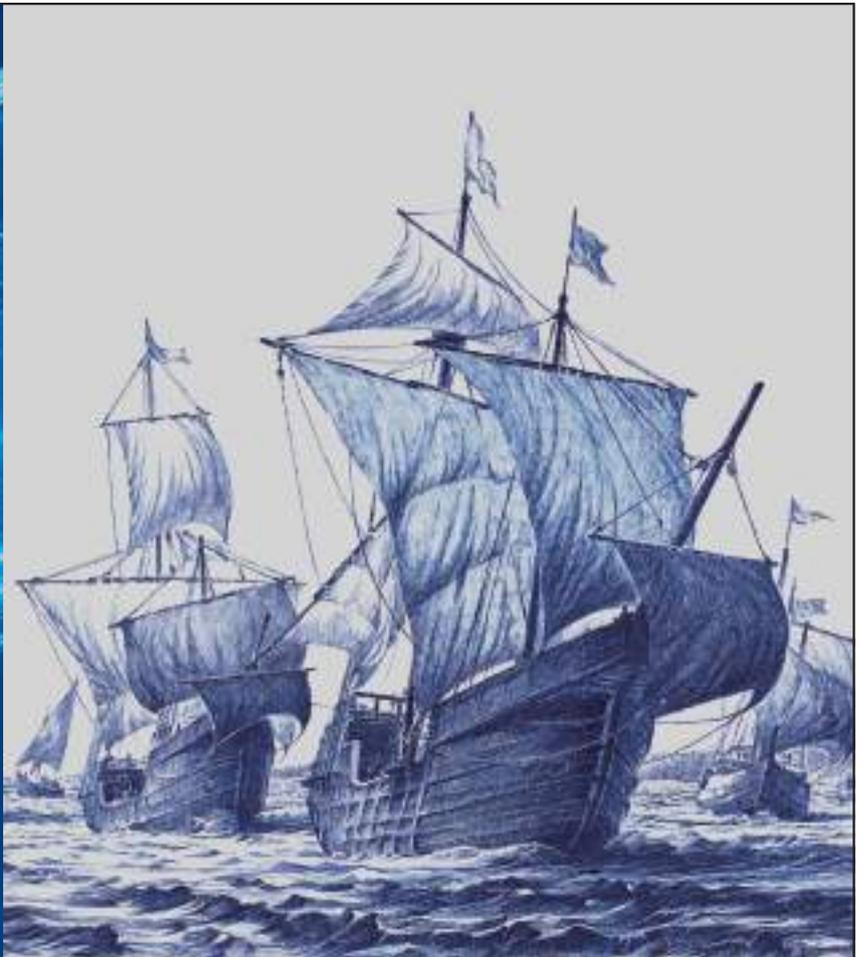
株式会社 別大興産

挑戦の 数だけ、 保険が ある。

To Be a Good Company



東京海上日動



いちばん、お客さまを考える

一生運のパートナー

第一生命

Dai-ichi Life Group

95th
OITA2020

おかげさまで
第一生命大分支社は
95周年を迎えました

第一生命は、健康を始めとしたお客さまのQOL※向上へ貢献したいという思いから、様々な商品やサービスの提供、疾病予防の啓発活動に取り組んでいます。これからも、健康増進に取り組む皆さまを応援していきます。

※第一生命が考えるQOL (Quality of Life)向上とは、一人ひとりが望むしあわせな人生や生き方を実現すること

第一生命保険株式会社 大分支社 TEL 097-534-0241

C20-875-0020 (2020.10.6)

電気でつなぐ
マチ・ヒト・ミライ



 鬼塚電気工事株式会社
ONIZUKA ELECTRIC WORKS

URL : <http://www.onizuka.co.jp>



夢に向かって挑戦する人を
応援しています。

The Body Care Company
— すべての人の「ボディケアカンパニー」へ —

様々なシーンで挑戦する人の想いや
ボディケア方法を配信中!

全国車いす駅伝競走大会で活躍
するアスリートチーム「京都ステイ
ヤーズ」を紹介しています。
詳しくはサイトへアクセス ▶



ファイテンは  大分車いすマラソン2020を応援しています

ファイテン株式会社
京都府京都市中京区烏丸通錦小路角手洗水町678番地

ファイテンオフィシャルサイト ▶ お近くのファイテンショップは下記ホームページで検索いただけます
www.phiten.com/

“大切な人を想う”のいちばん近くで。



日本生命



日本生命は、大分車いすマラソン2020を応援しております。

076-20-75

SAP Concur 

*ITR 「ITR Market View：予算・経費・就業管理市場 2020」

「働きがいのある会社」NO.1の企業で
働きませんか？

出張・経費管理の最大手のコンカーでは、
大分支社で一緒に働く仲間を募集しています。

GPTWによる「働きがいのある会社」ランキングの
従業員100～999人部門において3年連続1位

詳しくはウェブで
<http://www.concur.co.jp/>

株式会社コンカー

お問合せ・資料請求
03-4570-4666

受付時間
平日 9:00～18:00

2019年大分支社開設！
募集職種はこちら



THE BEST RUN 

コンカーと一緒に働きませんか？

コンカーで働く



一人ひとりが スポーツを楽しむ “Sport for Everyone社会”の 実現を目指して

新しい生活様式のなか、
私たちのスポーツ環境も
大きな制約を受けています。

私たちは今こそ、スポーツの力で
健やかに生きられる社会の実現に
いっそう注力してまいります。



笹川スポーツ財団は、大分車いすマラソン2020を応援しています。



<https://www.ssf.or.jp>

Supported by  日本 THE NIPPON
財団 FOUNDATION

郵便局の みまもり サービス

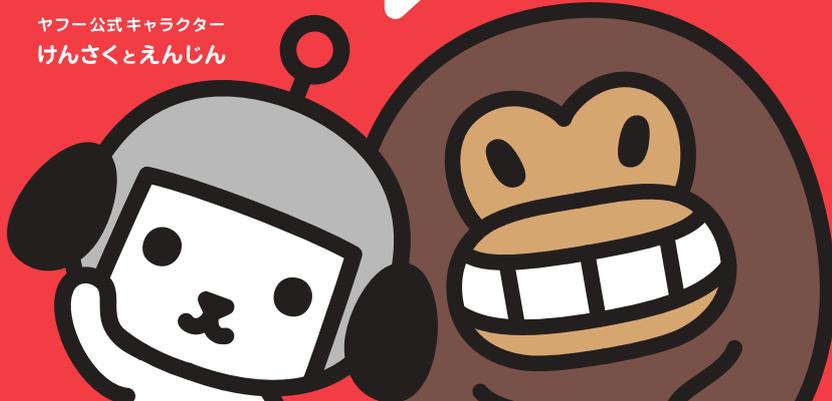


みまもり、つながる。
家族のあんしん。



ヤフーは、
大分車いすマラソン2020を
応援しています

ヤフー公式キャラクター
けんざくとえんじん



YAHOO!
JAPAN

© Yahoo Japan Corporation



あしたへ—with you, with ICT.

ICTは夢の三か国だ。

どこにいても、いくつになっても、
夢は、かなえることができる。
さあ変わろう。この街で。あなたから。
ICTは、チカラになれる。
私たちは、もっと
「ソーシャルICTパイオニア」へ。

NTT西日本 大分支店

審査19-T49

審判長注意



マラソン審判長
Marathon Referee

田崎 弘宣
Tasaki Hironobu



ハーフマラソン審判長
Half Marathon Referee

小俣 秀之
Omata Hideyuki

本大会は、WPA 競技規則及び大分車いすマラソン2020競技注意事項によって実施します。
スタートは、マラソンとハーフマラソン別々のスタートとし、全車線を使ってスタートします。
スタート直後は、集団が分散するまで無理な進路変更を行わず、直進してください。

また、スタート後約800メートルの舞鶴橋手前で
右側車線に絞り込みを行いますので十分注意してください。

選手諸君の健闘を祈ります。

大分車いすマラソン2020 実施要綱

1 目的

新型コロナウイルス感染症の影響で、東京パラリンピックをはじめ、国内外の大会が相次いで中止・延期となり、選手が日頃の努力の成果を発揮する機会が失われている。

その中で、日本のパラスポーツ発祥の地である大分として、選手、スタッフ及び県民をはじめ大会を応援していただくすべての方と共に大会を作りあげ、車いすマラソンの勇気と希望の灯を未来につないでいくことを目的とする。

2 名称

大分車いすマラソン2020 (にーぜろにーぜろ)

3 主催

大分県、公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会、一般社団法人日本パラ陸上競技連盟、大分市、大分合同新聞社、社会福祉法人大分県社会福祉協議会、大分県障がい者スポーツ協会

4 公認

世界パラ陸上競技連盟 (World Para Athletics)
(この大会は、WPA Approved Eventとして公認されている。マラソンについては、国際パラリンピック委員会(IPC)選手ライセンス登録が完了し、かつ国際クラスを保持する選手の結果及び記録のみ、WPAの公認対象となる。なお、ハーフマラソンの全結果は、WPAの公認対象ではない。)

5 主管

一般財団法人大分陸上競技協会

6 共催

株式会社大分放送

7 後援

厚生労働省、スポーツ庁、大分県教育委員会、大分市教育委員会、公益財団法人大分県スポーツ協会、一般社団法人大分県身体障害者福祉協会、社会福祉法人大分合同福祉事業団、社会福祉法人太陽の家、社会福祉法人大分県共同基金、公益社団法人大分県理学療法士協会、NHK大分放送局、株式会社テレビ大分、大分朝日放送株式会社、株式会社エフエム大分

8 協賛

オムロン株式会社、ソニー株式会社、本田技研工業株式会社、三菱商事株式会社、株式会社デンソー、株式会社本田技術研究所、株式会社富士通エフエス、富士通株式会社、新日本製薬株式会社、株式会社大分銀行、株式会社九電工、キヤノン株式会社、株式会社シブス、ジブラルタ生命保険株式会社、清水建設株式会社、公益社団法人大分県薬剤師会、株式会社マルミヤストア、全日本空輸株式会社、全国共済農業協同組合連合会、株式会社別大興産、明野中央病院、東京海上日動火災保険株式会社、第一生命保険株式会社、鬼塚電気工事株式会社、ファイテン株式会社、日本生命保険相互会社、株式会社コンカ、公益財団法人笹川スポーツ財団、日本郵便株式会社、ヤフー株式会社、西日本電信電話株式会社 計31社

9 協力

大分県警察本部、陸上自衛隊第41普通科連隊、大分市交通指導員連合会、日本赤十字社大分県支部、国立大学法人大分大学、別府重度障害者センター、社会医療法人恵愛会大分中村病院、社会福祉法人農協共済別府リハビリテーションセンター、大分県障害者スポーツ指導者協議会、株式会社日本航空、九州旅客鉄道株式会社

10 日時(予定)

※日程、会場については、今後の状況により変更となる場合がある。
令和2年11月14日(土)
9時00分～12時00分 選手受付 (大分県庁舎)
12時30分～13時00分 有力選手記者会見 (大分県庁舎)
令和2年11月15日(日)
8時00分～ 9時20分 手荷物・生活用車いすの受付 (大分城址公園)
8時00分～ 9時20分 競技用車いすの検定、ロゴチェック (大分城址公園)
8時00分～ 9時25分 ウォームアップ (大分市役所周辺)
9時25分～ 9時45分 プレライニングアップ (大分市役所東側)
10時00分 マラソンスタート (大分県庁前)
10時03分 ハーフマラソンスタート (大分県庁前)

11 大会開催の基準等

(1)大会開催の目安となる基準(新型コロナウイルス感染症に係る部分)下記①から③までの全ての基準を満たす場合にレースを開催する。
①国内において、新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されていないこと
②大分県知事による休業要請や外出自粛、感染拡大地域への移動自粛等の要請がなされていないこと
③政府が定める感染状況に関する各種基準等(※)、その他の要素を総合的に勘案し、大会の開催が可能であると判断した場合(※) 下記の指標等を想定。
・大分県が、新型コロナウイルス患者用に確保した最大病床数の占有率が1/5未満
・大分県が、新型コロナウイルス患者のうち、重症用に確保した最大病床数の占有率が1/5未満
・大分県内における新型コロナウイルスの療養者の総計が、人口10万人あたり15人未満(およそ170人)
・大分県内における直近一週間の新型コロナウイルス新規患者数が、人口10万人あたり7.5人未満(およそ85人)
(2)大会開催の基準(自然災害等に係る部分)
大会中止基準及び緊急時の対応等は、「大分車いすマラソン2020危機対応マニュアル」に基づき対応する。
なお、雨天時においても原則として競技を実施する。

12 実施種目及びコース

マラソン (42.195km)
大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)
ハーフマラソン (21.0975km)
大分市内 (国際陸上競技連盟/日本陸上競技連盟公認コース)

13 参加資格

令和2年11月15日現在、満14歳以上の者で下記の条件を満たす者とする。
【マラソン】
国内在住の身体障害者手帳を所持する車いす使用者、かつ日本パラ陸上競技連盟に登録した者で、主催者が認定した者
【ハーフマラソン】
国内在住の身体障害者手帳を所持する車いす使用者で、主催者が認定した者
(注意)
※その他、選手、介助者及び競技運営関係者(競技役員、ボランティア

ア等) (以下、「選手及びスタッフ等」とする。)の大会への参加等を認める基準

選手及びスタッフ等については、下記①から③までの基準に1つでも該当する場合、参加を認めない。

- ①大会前日及び当日(スタッフ等においては業務従事当日)に、体調管理チェックシートを提出できない場合
 - ②体調管理チェックシートにおいて、直近2週間の間に感染疑い症状が見られる場合
 - ③大会前日及び当日(スタッフ等においては業務従事当日)時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者
- ※選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。
※選手の介助を行う介助者については、選手1名につき1名までとする。なお、介助者に対しても体調管理チェックシートの提出を義務づける。

14 参加料

マラソン5,000円、ハーフマラソン1,000円とする。
※エントリー後、大会が中止になった場合は、振込手数料を除いた参加料を選手へ返金する。

15 競技規則

World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用となる最新のWPA 競技規則)及び別に定める本大会競技注意事項等による。
参加するすべての選手にWPA 競技規則の広告に関する規程が適用される。

16 クラス分け

- (1)マラソン、ハーフマラソンとも、T51、T33/52、T34/53/54の3クラスに分ける。
- (2)新型コロナウイルス感染防止対策として、大会前日のクラス分けは実施しない。
- (3)クラス分けが必要な選手については、別途診断書等の提出を依頼し、クラス分け委員が電話、メール等の問診により判定する。
なお、この大会で行われるクラス分けは、日本国内では有効であるが、WPAの国際クラスとしては承認されるものではない。

17 ドーピング検査

本大会では、ドーピング検査を実施する。

18 表彰

- (1)マラソン・ハーフマラソンとも男女別・クラス別に1位から3位を表彰する。
- (2)順位決定には、WPAにおける公認や選手登録の有無は影響しない。

19 申込方法

- 申込方法は以下のいずれかとする。
- ①公式ホームページの電子エントリーフォームによる申込み。
 - ②参加申込書に必要事項を明記し、顔写真2枚を添付の上、大会事務局あて郵送またはメールにて送付する(当日消印有効。なお、メールによる参加申込書の送付の場合は、顔写真の画像ファイルを1枚添付すればよい)。
- ①、②ともに、参加申込みの締切は、令和2年9月27日(日)までとする。

20 大会中止基準及び緊急時の対応

別に定める大分車いすマラソン2020危機対応マニュアルに基づき対応する。

21 競技中の事故

競技中の事故により負傷した場合、応急処置は主催者において実施するが、治療費は原則として選手の負担とする(健康保険証を持参すること)。

22 観戦及び応援の自粛

- (1)新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、スタート地点(ウォーミングアップエリア含む)、コース付近、フィニッシュ地点(大分市営陸上競技場内)は無観客とする。(采買・大会役員を除く。)
- (2)コース付近における応援・観戦の自粛を要請する。
- (3)フィニッシュ地点(大分市営陸上競技場内)への入場は、大会事務局が事前に発行したA/Dカードを着用した者のみ認めることとする。

23 コース走行自粛

中央分離帯がなく、往路・復路で対面走行となる箇所(テクニカルコース)については、向かって中央線より左側(日本陸上競技連盟公認コース)を走行すること。
安全、公平なレース運営を行う観点から、今大会からコース内にコーン・ミニコーン等を増設しているため、走行時には十分に注意すること。

24 健康管理

- (1)選手及びスタッフ等の健康管理については、大会事務局が別途定める「新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル(仮称)」(10月中旬頃公表)によるものとする。
- (2)選手全員に対して、新型コロナウイルス感染の有無を判定する検査を実施する。

25 選手及び競技運営関係者を対象とする保険への加入

- ①競技中の事故等に備え、主催者において、選手及びスタッフ等を対象とする保険に加入する。保険の内容については、別途示すこととする。
- ②主催者は、選手及び競技運営関係者が新型コロナウイルス感染症等に感染した場合においては、いかなる責任も負わないこととする。

26 個人情報の取扱い

主催者及び大会事務局は個人情報保護に関する法令を遵守する。
なお、取得した個人情報は参加資格の審査、プログラム編成及び作成、応援チラシ等の印刷物の作成、報道機関からの問い合わせ、広報活動、記録発表、感染予防対策、並びにその他競技運営に必要な用途に限り利用する。

27 大会事務局

大会事務局は、大分県福祉保健部障害者社会参加推進室内、大分県障がい者スポーツ協会に置く。

所在地	〒870-8501 大分市大手町3丁目1番1号
電話番号	097-533-6006
FAX	097-506-1736
大分車いすマラソン2020事務局メールアドレス	kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp
大分車いすマラソン2020ホームページURL(アドレス)	www.kurumaisu-marathon.com

大分車いすマラソン2020 危機対応マニュアル

I 趣旨

このマニュアルは、大分車いすマラソン2020の中止基準及び緊急事案発生時の対応について、大会本部、関係者の対応に必要な事項を定めるものとする。

II 大会中止基準

- 大分地方気象台が、大分市に警報(大雨、洪水、暴風、暴風雪、大雪、高潮)を発表したとき又は発表するおそれがあるとき。
- 県内で震度5強以上の地震を観測し、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- 県内に津波警報(大津波)が発表され、大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- その他の災害で大分県に災害対策本部が設置されたとき。
- コース上で大規模な事故、事件、火災、ガス漏れ、水道管破裂、道路陥没、停電等により、レース運営に支障を来す事案が発生したとき。
- 全国瞬時警報システム(Jアラート)が発令され安全確保ができないとき。
- 国内で大災害が発生したとき、又は社会的に大きな事件等が発生したとき。
- ただし、上記(1)~(7)の場合であっても、大会会長が実施可能と判断し、大会を開催する場合がある。

III 判断方法(レース前)

大会事務局より、下記の日程で開催検討会議を逐次実施し開催の可否について検討する。

なお、検討にあたっては、大会技術代表及び競技役員総務の意見を反映すること。

- レース7日前
- レース前日 午前10時
- レース当日 午前4時

最終決定は開催検討会議の結果をふまえ、大会会長が判断する。

IV 緊急事案発生時の対応

大会期間中に緊急事案が発生し、又は発生するおそれがある場合は、大会本部及び関係者において、事態に対処するものとする。

(1)想定される緊急事案の種類

事案の態様	種別
自然災害	①風雨 ②地震 ③津波 ④噴火 ⑤その他大規模な災害
大規模な事件	⑥弾道ミサイル発射 ⑦爆破 ⑧無差別テロ ⑨毒劇物散布(異臭騒ぎ含む) ⑩各事案の予告 ⑪不審物(者)の発見
大規模な事故	⑫爆発 ⑬火災 ⑭ガス漏れ ⑮水道管破裂 ⑯道路陥没 ⑰停電

(2)対処行動

緊急事案が発生した場合は、迅速かつ的確に以下の措置を講ずる。

ア 大会関係者等への情報伝達と避難準備

大会本部は大会関係者等に対し、発生した緊急事案を正確に伝え、混乱をきたさないよう、場内放送、無線及び携帯電話による周知、大会協力者の口頭、その他あらゆる手段により、大会関係者等に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

イ 選手及び観客への情報伝達と避難準備

緊急車両、最終通告車等によるアナウンス並びにコース付近での大会協力者の口頭など、その他あらゆる手段により選手及び観客に対して周知を図り、必要に応じて避難準備等を促すものとする。

ウ 救護活動

負傷者が発生した場合は、可能な範囲で身元確認に努めるとともに、安全な場所に誘導し、到着した消防(救急隊)に引き継ぐものとする。

エ 避難誘導及び残留者の確認

避難誘導に際しては、避難行動の支障となる物品を撤去し、安全確保対策を行うとともに、自らの行動に制約のある障がい者、乳幼児等、避難行動要支援者に配慮を行いながら、誘導するものとする。

なお、避難誘導中に負傷者又は逃げ遅れた者を発見した場合は、大会関係者が相互に連携し、救護又は誘導に努めるとともに、対応が不可能と判断した場合は、速やかに警察・消防に引き継ぐものとする。

オ スタート後のレース中止による選手の収容

コース上の選手を収容し、収容車ほかコース配置車両を総動員して大分市宮陸上競技場又は大会本部が指定する場所に帰着させる。

大分車いすマラソン2020競技注意事項

新型コロナウイルス感染拡大防止等を踏まえ、例年の大分国際車いすマラソンに比べ、大幅に変更をしている事項があります。下記事項を熟読の上、遵守をお願いします。

本大会は、World Para Athletics 競技規則(大会開催日に適用となる最新のWPA 競技規則)及び競技注意事項等により実施する。

■競技注意事項

(以下、下線部は競技注意事項における昨大会からの変更箇所)

- 本大会は、マラソン、ハーフマラソンを実施する。
- マラソンとハーフマラソンのスタートは、時間差スタートとし、時間差は3分とする(男女共通)。
- 競技者は、衣類及び車いすについて、WPA 競技規則の広告に關する規程を遵守しなければならない。
- 競技者は、スタートラインからフィニッシュラインまで、コース内の決められた走路を走行する。
- 競技者は競技役員(監督)の許可を得て、かつその監督下にある場合は、コースを離れたことにより走行距離が短くならないことを条件に示されたコースを離れることができる。
- 本大会では、種目(マラソン・ハーフマラソン)、クラス又は性別の異なる選手の背後を5m以内の距離で追走する行為(ドラフティング)を禁止する。
- 競技者が走行中に他の競技者の走行を故意に妨害した場合は、失格とする。
- 競技者は、ヘルメットを着用しなければならない。ヘルメットは外殻が固く、保護性に優れ、国際安全基準(スネル規格 b-84/90/95、BSI6863、EN1078等)を満たしていなければならない。
- 競技者が走行中に転倒した場合は、競技役員及び警察官による介助のみ受けられる。ただし、競技者に有利になるような介助は受けてはならない。
- 競技中における車いす修理の援助は、競技役員にかぎり許可するが、修理に必要な器具等の提供、貸与は行わない。
- 審判長または医師から中止を命じられた競技者は、直ちに競技を中止しなければならない。
- 競技者は、競技役員及び警察官の指示に従わなければならない。
- 競技者は競技中、下肢のいかなる部分も地面又はトラックに接触してはならない。
- クラス分けについては、別紙の国際クラス分け表による。
- 本大会では、ドーピング検査を実施する。
- 関門の制限時間を次のとおり設ける。
(マラソンの部)
5km地点……………30分00秒
15km地点……………1時間00分00秒
30km地点……………2時間00分00秒
フィニッシュ地点……………3時間00分00秒
(ハーフマラソンの部)
5km地点……………30分00秒
10km地点……………57分00秒
15km地点……………1時間27分00秒
フィニッシュ地点……………2時間07分00秒
制限時間を越えた競技者は、関門に到達していなくても、直ちに収容車に収容する。
- 水の供給については、次のとおりとする。
(1) 給水所を次のとおり設ける。
マラソンの部……………10km、20km、30km、40km地点付近
ハーフマラソンの部……………10km、20km(マラソン40km地点と兼ねる)地点付近
(2) 主催者が用意するものは水だけとし、その他の飲料は用意しない。
(3) 競技者は、主催者が設けた各給水所以外で他人から飲食物やスポンジなどを受け取った場合は、失格とする。なお、主催者が設けた場所では、競技役員(監督)の介助を受けてもよい。
(4) 各給水所にて、競技者に対する霧吹きによる水の噴霧を行う。希望する競技者は各給水所にて競技役員に申し出ることとし、噴霧は競技役員が行い、各給水所以外の場所では行わない。
- 車いすについては、次のとおりとする。
(1) 車いすは2つの大きな車輪と1つの小さな車輪から成るものとし、小さな車輪は、車いすの前方になければならない。
(2) すべての車いすは、安全の目的から、機能的な(制動制御)ブレーキシステムを備えていなければならない。
(3) 車いすのフレームのいかなる部分も前輪の車軸を超えて前方に突き出ているはならず、さらにフレームおよびその付属品の幅はリムの傾斜面より広くてはならない。車いすフレーム底部の地面からの高さは、50cm以内とする。
(4) 車いすのいかなる部分も後輪の最後部を結んだ垂直面から後方に突き出ているはならない。
(5) 後輪、前輪の直径は十分に空気を入れたタイヤを含んでそれぞれ70cm、50cmを超えてはならない。
(6) 各大輪には平らで円形のプッシュリムをただ1つ付けることができる。ただし、この規則は選手受付時に実施するクラス分けの結果と技術代表の判断があれば、片腕で車いすを操作する競技者のためにこの規則を変更できる。
(7) 車いすを推進するいかなる機械的ギアやレバーも使用してはならない。
(8) トラック及び道路競技ではミラーの使用を禁止する。
(9) 機械的操縦装置は腕で操作するもののみ認める。
(10) 競技者は前輪を手動で左右に動かすことができなければならない。



- (11) フェアリングの使用又は空気力学的な能力を向上させるように特別に設計された車いすやそれに類似した装置の使用は禁止する。
 - (12) 車いすは招集場で測定を受ける。いったん検査を受けた車いすであっても、競技開始前または終了後に競技役員が再検査することがある。
 - (13) 前述の全ての規則に従うのは競技者の責任であり、いかなる競技も競技者が車いすを調整するために遅れることがあってはならない。
 - (14) 車いす後部に転倒防止を目的としたキャストの取り付けについて、ハーフマラソンに出場する T51クラスのみ、取り付けを認める。
- 19 アスリートビブス (旧ナンバーカード) について
アスリートビブスは配布された形で着用しなければならず、切り折りたたんだりあるいはいかなる方法でも見えなくしてはならないが、風通しをよくする目的で、文字や数字の部分避けて穴をあけることは可能とする。
- 20 撮影機器について
競技者は、競技区域内に小型カメラ、携帯電話等の撮影が可能な機器 (静止画、動画問わず) を持ち込んでよい。競技区域内とは、ウォーミングアップ区域及びプレライナップからフィニッシュエリア (芝生内) までの区域を指す。
- 21 下記については、助力行為とみなさず許可する。
身体保護及び/あるいは医療目的のあらゆる身体保護具。(包帯、絆創膏、ベルト、支持具、冷却機能付きリストバンド、携帯用酸素ボンベ等の呼吸器具)
競技者本人が携帯もしくは着用して使用する心拍計、速度・距離計、ストライドセンサー、その他類似的機器。ただし、他者との通信に使用不可能なものに限る。

■**新型コロナウイルス感染防止対策に係る事項**

- 1 主催者が行う感染症予防対策への同意について
競技者及び大会関係者は、以下の(1)~(5)に同意のうえ、大会に参加すること。
 - (1) 主催者からの健康状態の確認 (体調管理チェックシート等の提出、検温等) に応じる。(大会開催 2 週間前、大会当日、大会終了後 2 週間)
 - (2) 大会 2 週間前から大会当日までに、感染疑い症状の発症、PCR 検査もしくは抗原検査で陽性反応、感染者との濃厚接触があった場合、主催者に報告し、参加を辞退する。
 - (3) 大会当日に、発熱 (37.0 度以上) などの感染疑い症状がある場合、主催者は参加を認めない。
 - (4) マスクを持参し、レース中以外はマスクを着用し、各自が持ち帰り廃棄をする。(フェイスマスク (パフなど) の代用品を認める。)
 - (5) その他、主催者が定める「新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル (仮称)」に従う。
- 2 競技者がスタートからレースに持ち込んだ飲料、または給水所にて受け取った水等を、他の競技者と共有し、回し飲みすることを禁止とする。
- 3 競技者が脱ぎ捨てた衣類、ボトル等は大会主催者にて廃棄をする。

以 上

(別紙) 国際クラス分け表

T51

このクラスの選手は通常、肘関節屈曲、手関節背屈の筋力がグレード 5 あり、肩関節の筋は筋力低下がみられ、特に大胸筋や上腕三頭筋の筋力はグレード 0~3 である。通常、体幹の筋力は機能しない。
肘関節の屈筋と、手関節の背屈筋を用いて駆動する。膝の上に顎を置いて、体幹を真っすぐにして座っている。脊髄損傷の神経残存レベル C 5-6 レベルと同等の活動制限がある。

T33/52

T33

四肢麻痺、三肢麻痺、重度の片麻痺-中等度 (非対称性または対称性) の四肢麻痺、またはより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な筋力があり車いすを使用する重度の片麻痺。選手がより機能の良い側の障害上肢にほぼ完全な機能を持つ片麻痺か三肢麻痺の状態を呈しない限り、このクラスにアテトーゼの選手が含まれることは稀である。自立して車いすを推進することができる。

上肢-少なくとも障害のある上肢は伸展とフォロースルーの制限がある。痙性グレード 2 の中等度の制限。障害のある手が円筒状と球状の握りを示すことがある。

体幹-車いすを力強くプッシュする時、前方への体幹の動きは、伸展痙性によってしばしば制限される。痙性グレードは 2。

下肢-痙縮グレード 3~4。いくつかの明らかな機能が、トランスファー時に観察することができる。介助または歩行支援用具を使って歩行ができるかもしれないが、短距離のみである。

T33 と T34 の違いは、車いす駆動時の体幹の動きと、手の機能が重要である。もしも、駆動動作時に、すばい体幹運動を使うこと、または上肢運動の明らかな非対称性、もしくは握りとリリースに非常に貧しい能力を示した場合は、クラス T33 である。

片上肢で車いすを駆動する場合、ロングストロークや素早い握り、リリースを行っていても、T33 である。

T52

このクラスの選手は通常、肩・肘・手関節の筋力は正常である。手指屈伸筋力は手内筋の萎縮を伴って正常ではない。駆動には肩・肘・手関節を用いている。通常、体幹筋力は機能しない。T53、T54 のクラスと同じようなグロブテックを用いる場合もある。脊髄損傷の神経残存レベル C 7-8 と同等の活動制限がある。

T34/53/54

T34

両麻痺-中等度から重度。上肢と体幹の障害 (制限と問題) は最小限で機能は良好。

上肢-上肢は、多くの場合、正常の機能を示す。関節可動域の最小限の制限があるが、ほぼ正常なフォロースルーが可能で、投げたり、駆動もほぼ正常である。手の機能は正常で、すべてのスポーツで見られるように、つかみやすい握りが可能である。制限があるとすれば、早く細かい運動で見られる。両麻痺は上肢よりも下肢の方がより痙性が強い。痙性グレード 1~2。手、上肢、体幹を機能的に動かすことが可能である。

体幹-痙縮グレード 1~2。車いす駆動時の体幹の動きは最小限の制限。いくつかの選手は疲労で痙性が増強することもあるが、適切なポジショニングで克服することができる。立位時、バランスは補助器具を使用しても不良 (poor) である。

下肢-中等度から重度。両下肢とも痙性グレードは 3~4。通常、補助具を使用せずに長距離歩行はできない。車いすの駆動では長く、力強い駆動、素早い把持とリリースが可能である。しかし、手の細かい動きが影響を受けるかもしれない。駆動時に、これらの細かい動きは必須ではない。体幹の前方および後方の強い動きは、上肢のストロークをサポートしている。これらの体幹運動が起こらない場合には、体幹はバランスが取れており、上肢の動きのための安定性を提供している。車いすは曲線を走行する時、体幹はバランスを崩すことはない。

T53

このクラスの選手は、正常な上肢機能を持ち、腹筋と下部の背筋は機能しない。腹筋の機能を補うために、体幹を水平に近づけるといった様々なテクニックを用いる。一般的に加速の時には、体幹を下方に保持しておくための腹筋の機能がなくため体幹は膝から離れて起きる；駆動中、下方への自動的な体幹の運動はみられない。大抵の場合、代償機能を調整するために駆動サイクルは制限される。脊髄損傷の神経残存レベル T 1-7 と同等の活動制限がある。

T54

このクラスの選手は、正常な上肢筋力を持ち、体幹をコントロールする能力は部分的なものから正常までの幅を持っている。このグループの選手の中には有効な下肢の筋力を持っている選手もいることがある。リムに駆動の力が加えられた時に、体幹を下方に保持するための正常な体幹コントロールができる。大抵の場合、駆動時のサイクルはスムーズである。

車いす上で身体を起き上がり、回旋する筋力を加えることによって車いすの方向転換をすることができる。脊髄損傷の神経残存レベル T 8-54 レベルと同等の活動制限がある。

(※) 上記は、日本版クラス分けマニュアルから抜粋したものであり内容が一部異なる場合があります。詳しくは、日本パラ陸上競技連盟ホームページにて最新版をご参照になるか、大会事務局までお問い合わせください。

<http://jaafd.org/contents/code/committee3>

大分車いすマラソン2020開催に向けた基本方針

1. 目的

この基本方針は、大分車いすマラソン2020を実施する際の、新型コロナウイルス感染症の感染拡大リスクを踏まえた大会運営のあり方や、感染拡大を防止するために大会関係者が遵守すべき「大分車いすマラソン2020における新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル」の策定に際しての基本的な方向性を定めることを目的とする。

2. 大会を実施する基準等

(1)大会開催の目安となる基準

- 下記①から③までの全ての基準を満たす場合にレースを開催する。
- ①国内において、新型コロナウイルス等対策特別措置法に基づく緊急事態宣言が発出されていないこと
 - ②大分県知事による休業要請や外出自粛、感染拡大地域への移動自粛等の要請がなされていないこと
 - ③政府が定める感染状況に関する各種基準等（※）、その他の要素を総合的に勘案し、大会の開催が可能であると判断した場合（※）下記の指標等を想定。
 - ・大分県が、新型コロナウイルス患者用に確保した最大病床数の占有率が1/5未満
 - ・大分県が、新型コロナウイルス患者のうち、重症者用に確保した最大病床数の占有率が1/5未満
 - ・大分県内における新型コロナウイルスの療養者の総計が、人口10万人あたり15人未満
 - ・大分県内における直近一週間の新型コロナウイルス新規患者数が、人口10万人あたり7.5人未満

(2)大会開催の可否を判断するプロセス

諮問委員会は、9月下旬に開催（予定）する委員会において、県内における感染状況等を総合的に勘案し、上記の基準を踏まえた上で、大会の開催可否について、大会事務局に対し技術的助言を行う。

ただし、大会開催までに、上記(1)の基準を満たさなくなる、もしくはその可能性が高いと認められる場合には、委員長の判断において臨時の委員会を招集し、大会の開催可否について、再度事務局に対して技術的助言を行う。

(3)選手及びスタッフ等の大会への参加等を認める基準

- 選手及びスタッフ等については、下記①から⑤までの基準に1つでも該当する場合、参加を認めない。
- ①大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）に、体調管理チェックシート（後述）を提出できない場合
 - ②体調管理チェックシートにおいて、直近の2週間に新型コロナウイルス感染症の疑い症状（以下、疑い症状と言う。）が見られる場合
 - ③大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者
 - ④レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において実施する検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合
 - ⑤（選手のみ）レース前日に実施する新型コロナウイルス感染の有無を判定する検査の結果が陽性であった場合
- ※選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。
- ※選手の介助を行う介助者については、選手1名につき1名までとする。なお、介助者に対しても体調管理チェックシートの提出を義務づける。

3. 感染拡大防止のために行うこと

(1)観客の動員及び沿道からの応援

メイン会場となる市営陸上競技場においては、来賓や大会役員等を除き、観客を入場させない。また、沿道からの応援や声かけについては自粛を要請する。

(2)関係者全員の健康状態の管理

大会前後において適切な健康状態の管理を行うため、大会に関わる全ての者（選手、スタッフ、メディア等）に対し、開催前2週間の体調及び検温結果の報告並びに開催後2週間の体調管理・検温の義務を課す。

(3)レースの各段階における感染症予防策

(基本的な予防策)

- ・ソーシャルディスタンスを確保した動線の設定
- ・大会に関わる選手及びスタッフには、常時（選手においては、ウォームアップを含むレース中を除く）マスクの着用を義務付ける。
- ・受付等、選手とスタッフが対面で接触する場所には、アクリル板等を設置する。スポットが定まらずアクリル板等の設置が困難である場合、対応するスタッフは、フェイスシールドを併用する。

- ・各所に消毒用アルコールを設置し、こまめな手指消毒を義務付ける。
- ・大会関係者全員にADカードを発行（事前申込制）し、属性ごとに立入可能エリアを限定する。
- ・全てのスタッフ等に対し、業務従事前の検温及び直前2週間の体調管理チェックシートの提出を義務付け、感染疑いのある場合は業務従事を認めない。（再掲）
- ・従来の業務を見直し、最低限の人数で対応できるよう、人員配置を再検討する。
- ・ボランティアを含むスタッフへの当日説明は最小限とし、人が密集する時間の低減を図る。（事前説明についても、オンラインを活用するなど最大限配慮する。）

(レース前日の選手受付)

- ・入口での検温で、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合は、速やかに隔離用設備に誘導する。
- ・会場が混雑しないよう、選手ごとに受付時間帯を指定する。

(手荷物・生活用車いすの受付→車いす検定、ロゴ・チップチェック)

- ・受付方法について、混雑が生じないよう見直しを行う。
- ・スタッフは、1人分の手荷物及び生活用車いすの受け取り及び引き渡しを行う都度、消毒用アルコールを用いた手指消毒を行う。

(ウォームアップ・ラインアップ)

- ・ウォームアップ中は他の選手への声掛け等を行わないよう、選手全員に呼びかける。
- ・ラインアップ時は、選手間の前後の間隔を1.5m以上確保する。

(レース中)

- ・故意に痰やつばを吐き出さないよう選手全員に呼びかける
- ・フィニッシュ後、他の選手との握手やハイタッチ、抱擁等の接触を行わないよう選手全員に呼びかける。
- ・レース途中で体調不良によりリタイアした選手に対しては、新型コロナウイルスの感染のおそれがあることを前提として、感染防護を徹底した医療スタッフによるサポートを行う。

(レース終了後)

- ・レース終了後は、表彰される選手を除き、速やかに競技場から退出させる。
- ・選手を搬送するシャトルバスを増便し、乗員同士の間隔を十分に開けるなど、車内が密状態とならないようにする。
- ・競技場内に落ちているゴミを回収するスタッフは、手袋を着用した上で火ばさみを使用するなど、ゴミに直接触れないようにする。
- ・表彰式及び閉会式は、簡素化する。

(4)メディアの感染防止策

取材当日に提出される体調管理チェックシートにおいて感染疑い症状が見られる場合や、取材当日の検温において37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合は取材を許可しない。

加えて、選手との適切な距離を保った取材可能エリアの設定、混雑を防止するための入場制限及び1社あたりの人数制限等を行う。

4. 感染者（疑いを含む）が発生した場合等

(1)感染者（疑いを含む）が発生した場合

レース前日及び当日に、受付場所や競技場を含む大会実施エリアにおいて、新型コロナウイルスの感染が疑われる者が発生した場合、対象者に対し各エリアに設置する隔離用設備（テント等）内における一時的な待機を依頼する。

その後速やかに医師による診察を行い、その結果、検査の必要性が認められる場合は、保健所へ連絡の上、適切な方法で医療機関において検査を行う。

大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した者は、大会事務局に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告するよう義務づける。

※なお、大会関係者全員に対し、接触確認アプリ（COCOA）の事前インストールを呼びかける。

(2)医療体制について

大会事務局は、感染者（疑いを含む）が発生した場合に、必要な検査が滞りなく実施できるよう、また入院が必要な場合には速やかな受け入れが行われるよう、発生時の手順等について県福祉保健部健康づくり支援課等の関係機関と十分な事前協議及び確認を行う。

(3)感染者が発生した場合の情報発信の方法

県及び市の保健当局と協議の上、必要な情報については大会ホームページやプレス発表等による周知を行う。

選手及びスタッフに対しては、あらかじめ作成したメーリングリストを用いて、電子メールにより情報提供を行う。

大分車いすマラソン2020における新型コロナウイルス感染拡大予防マニュアル

目次

はじめに

第1章 大会への参加を認める基準

第2章 大会に関わる方が留意すべきこと

- (1) 共通事項
- (2) 選手（介助者を含む）
- (3) 競技役員

第3章 感染拡大防止に向けた大会運営の方法

- (1) 観戦及び応援の自粛
- (2) 健康状態の管理
- (3) 場面ごとの感染予防策
 - 1 共通事項
 - 2 前日受付
 - 3 ウォームアップ前
 - 4 ウォームアップからラインアップまで
 - 5 スタートからフィニッシュまで
 - 6 フィニッシュ後
- (4) メディアの感染予防策

第4章 感染者等が発生した場合の対応

- (1) 感染が疑われる者が発生した場合の対応
 - (i) スタート地点付近で発生した場合
 - (ii) 競技場内で発生した場合
 - (iii) コース途中で発生した場合
 - (iv) 前日受付会場で発生した場合
- (2) 感染者を確認した場合の対応
 - (i) 選手を対象とした前日の検査において陽性者がいた場合
 - (ii) 大会終了後2週間以内に感染の報告を受けた場合

- (別紙1) 体調管理チェックシート（大会前）
 (別紙2) 体調管理チェックシート（大会後）

はじめに

このマニュアルは、大分車いすマラソン2020を開催するにあたり、新型コロナウイルスの感染拡大を予防するために、主催者が講じる対策の概要を示すとともに、参加ランナー、競技運営関係者、ボランティアスタッフ、地域住民等、大会に関係する全ての方々において、感染を防ぐための共通理解を持っていただくことを目的として作成しました。本大会にご参加いただく上では、参加を認める基準を遵守していただくのは当然のことですが（第1章）、大会前後の行動を含む、対象者別の留意事項を事前にご確認いただくとともに（第2章）、主催者が講じる感染防止策や、感染疑い事例が発生した場合の対応などについても十分にご理解いただき（第3章、第4章）、安全・安心な大会を開催できるよう、皆様のご協力をお願いします。

参考

- ・公益財団法人日本スポーツ協会・公益財団法人日本障がい者スポーツ協会「スポーツイベントの再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（令和2年5月29日改訂）
- ・スポーツ庁「社会体育施設の再開に向けた感染拡大予防ガイドライン」（令和2年5月25日改訂）
- ・一般社団法人日本陸上競技連盟「陸上競技活動再開のガイドライン」（令和2年6月11日）
「ロードレース再開のガイドライン」（令和2年8月11日改訂）
- ・一般社団法人日本パラ陸上競技連盟「感染リスクを軽減させた競技会の運営について」（令和2年8月3日改訂）

第1章 大会への参加を認める基準

選手（介助者（※）を含む）及びスタッフ等（競技役員、ボランティアなど）については、下記①から⑤までの基準に1つでも該当する場合、大会への参加を認めない。

- ① レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）に、体調管理チェックシート（第3章(2)「健康状態の管理」を参照）を提出できない場合
- ② ①の体調管理チェックシートにおいて、直近の2週間に、新型コロナウイルス感染症の疑い症状（以下、疑い症状と言う。）が見られる場合
- ③ 大会前日及び当日（スタッフ等においては業務従事当日）時点で、新型コロナウイルス感染症患者の濃厚接触者として、行政から自宅待機を要請され、健康調査が行われている者
- ④ レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において実施する検温の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合
- ⑤（選手のみ）レース前日に実施する新型コロナウイルス感染の有無を判定する検査の結果が陽性であった場合
- ⑥ その他、大会への参加が不適当であると大会事務局が判断した場合（※）介助者については、選手1名につき1名までとする。選手、スタッフ等いずれにおいても、高齢者や基礎疾患を有する者については、新型コロナウイルス感染症に感染した際の重症化リスクが高い旨を認識してもらい、参加の同意を得る。

第2章 大会に関わる方が留意すべきこと

- (1) 共通事項
 - ・「密閉空間」、「密集場所」、「密接場面」（以下、「3密」と言う。）を避けた行動を徹底すること。
 - ・こまめな手洗いや手指消毒を行い、手を清潔に保つこと。
 - ・マスクを着用し、咳やくしゃみをする際は、咳エチケットにより飛沫を飛ばさないようにすること。
 - ・大会開催の2週間前から終了後2週間にかけて、体調管理チェック

シートを活用した体調管理及び検温を徹底すること。開催前2週間分の体調管理チェックシートについては、大会前日もしくは当日、受付で提出すること。※提出前に、提出するデータをコピーまたは写真に撮り、自身でも保管すること。

- ・大会終了後、2週間以内に疑い症状が見られた場合には、医療機関（かかりつけ医等）への相談・受診を行い、新型コロナウイルス感染症の感染が確認された場合、速やかに大会事務局に報告すること。（大分車いすマラソン2020事務局：097-533-6006）
 - ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）を事前にインストールしておくこと。
 - ・大会開催の2週間前から、感染拡大地域への不要不急の移動は控えること。
 - ・大会前後において、複数名での会食等は控えること。
 - ・ホテルに宿泊する際はできるだけ個室を利用し、食事の形式は、個室など感染リスクが比較的低いとされるものを選択するよう心がけること。
 - ・会場までの移動にはできるだけ自家用車を使用し、公共交通機関を使用する際は、マスクの着用や、ソーシャルディスタンスの確保等の感染対策を徹底すること。
 - ・会場にはゴミ箱を設置しないので、ゴミは各自で持ち帰ること。
- (2) 選手（介助者を含む）
 - ・車いす（生活用・競技用）や手荷物等、他者が触れる可能性がある持ち物は、こまめに消毒すること。
 - ・ウォームアップは個別に行うこと。またマスク着用時以外の選手同士の話は控えること。
 - ・衣服等は脱ぎ捨てないこと。（回収した衣服等は、原則廃棄する。）
 - ・競技中、つばや痰を吐く行為は極力行わないこと。
 - ・他の選手との握手やハイタッチ、抱擁等の接触を行わないこと。
 - ・（介助者）混雑防止のため、ウォームアップエリアへの立入は最小限にする。
 - (3) 競技役員
 - ・個人防護具（マスク、フェイスシールド、使い捨てゴム手袋、ゴーグルや眼鏡（サングラス）等）を着用すること。（使い捨てゴム手袋は使用すること、交換又は消毒用アルコールを用いた消毒を行うこと。）
 - ・用器具の共用はできるだけ避けること。やむを得ず使用した場合は用器具や手指の消毒を行うこと。

第3章 感染拡大防止に向けた大会運営の方法

- (1) 観戦及び応援の自粛
 - メイン会場となる大分市宮陸上競技場（以下、競技場と言う。）においては、来賓や大会役員等を除き、無観客とする。また沿道からの観戦及び応援については、大会ホームページや当日のアナウンス等を通じて自粛を要請する。
- (2) 健康状態の管理
 - ・選手（介助者を含む）、競技役員、ボランティア等、全ての大会関係者は、大会開催の2週間前から終了後2週間にかけて「体調管理チェックシート」（別紙1及び別紙2）を用いた健康管理および検温を行い、大会開催前2週間分の体調管理チェックシートについては、レース前日及びレース当日（スタッフ等においては業務従事当日）の受付において提出すること。
 - ・体調管理チェックシートが提出されない、又は適切に健康管理がされていないと大会事務局が判断した場合、当該者のレースへの出場又は業務への従事を認めない。
 - ・提出された体調管理チェックシートにおいて、1つでも疑い症状が見られる場合、もしくは体調管理チェックシートの確認と併せて行う検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高熱であると認められる場合、当該者のレースへの出場又は業務への従事を認めない。
 - ・競技役員やボランティア等においては、派遣元の組織において健康管理責任者を決め、体調管理チェックシートを集約し、報告することも可とする。
 - ・レース前日、選手全員に対し、新型コロナウイルス感染症の感染の有無を判定する検査を実施する。
- (3) 場面ごとの感染予防策
 - 1 共通事項
 - ・「3密」を避け、ソーシャルディスタンスを確保した動線を設定する。
 - ・全ての大会関係者に対し、常時（選手においては、ウォームアップを含むレース中を除く）マスクの着用を義務付ける。
 - ・選手と密接に関わるスタッフ等は、フェイスシールドを併用する。また各種受付等、選手とスタッフ等が対面で接触する場所には、アクリル板等を設置する。
 - ・各所に消毒用アルコールを設置し、こまめな手指消毒を呼びかける。
 - ・またスタッフ等には携帯用の消毒用アルコールを1人につき1つ配布し、1人分の作業を終えるごとに手指消毒を行うことを義務付ける。
 - ・大会関係者全員にADカードを発行（事前申込制）し、その属性ごとに立入可能エリアを限定する。
 - ・ボランティアを含むスタッフ等の当日説明は最小限とし、人が密集する時間の低減を図る。（事前説明についても、オンラインを活用するなど最大限配慮する。）
 - ・前日の受付会場、スタート地点周辺、競技場において、新型コロナウイルス感染症の感染疑い者を誘導する隔離用設備（テント等）を設置する。併せて、隔離用設備には医師、看護師等の医療スタッフを配置する。
 - ・トイレの使用においては、石けん又は消毒液が常備されているか、ハンドドライヤーが使用中止になっているか等、事前に確認しておく。
 - 2 前日受付
 - レース前日の選手受付では、選手とスタッフが対面で接する機会が多いため、マスクやフェイスシールドの着用等、飛沫予防等の基本的な対策を徹底するとともに、会場が混雑することのないよう、選手ごとに受付時間帯を指定するほか、適切な動線を設定するなどの対策を行う。

- (主な対策)
- 受付会場に隔離用設備を設置し、医療スタッフを配置する。
 - 入口での検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合、もしくは体調管理チェックシートにおいて疑い症状が見られる場合は、新型コロナウイルス対応係が隔離用設備へ誘導する。
 - 選手ごとに受付時間を設定し、会場の混雑を防止する。
 - 美走を踏まえた当日のクラス分けは実施せず、事前にクラス分け委員が、診断書等を踏まえた判定を行う。
- 3 ウォームアップ前
- レース当日は、まず最初に検温及び当日の体調を記録した体調管理チェックシートの確認を行う。その後手荷物等の受付やロゴチェック等を行う際は、選手、スタッフ及び審判員が接近することから、マスクやフェイスシールドの着用等、飛沫予防等の基本的な対策を徹底するとともに、受付会場の混雑防止に向けた対策を講じる。
- (主な対策)
- スタート地点周辺に隔離用設備を設置し、医療スタッフを配置する。
 - 会場での検温の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合、もしくは体調管理チェックシートにおいて疑い症状が見られる場合は、新型コロナウイルス対応係が隔離用設備へ誘導する。
 - 会場が混雑しないよう、選手ごとに手荷物受付等の時間帯を指定する。
 - 手荷物及び生活用車いす受付ブースのスタッフは、1人分の手荷物及び生活用車いすの受取り及び引渡しを行うごとに、消毒用アルコールを用いた手指消毒を行う。
 - 選手とスタッフが接触する機会が多く、ブースが密状態になりやすいロゴチェックブースにおいて、テント間の距離を2m以上確保し、従事する審判員及び補助員の数を減らす。
- 4 ウォームアップからラインアップまで
- 通常大会では、ウォームアップにおいて、選手同士または選手と介助者等が近距離で会話をしている様子が見られるため、ウォームアップ中の会話は控えるよう、事前及び当日に注意喚起する。また、プレラインアップ及びラインアップの配列においては、選手同士の距離を確保する。
- (主な対策)
- ウォームアップエリアに給水ポイントを設置しない。
 - ウォームアップ整理係は、ウォームアップ中の会話を控えるよう、選手に対し呼びかけを行う。また、ウォームアップエリアへの立入は最低限とするよう、介助者に対しても同様に呼びかける。
 - プレラインアップ及びラインアップでは、列数を通常大会よりも減らすことにより、選手同士の間隔を前後左右1.5m以上確保する。
 - 整列位置の目印となる立看板等で代用することにより、選手の整列補助として配置している審判員及びボランティアの数を減らす。
- 5 スタートからフィニッシュまで
- レース中は、給水時の回し飲みを禁止するなど、感染リスクの低減に向けた基本的な対策を講じるとともに、体調不良者に対する介助等、新型コロナウイルス感染症の感染が疑われる選手との接触が想定される場面では、感染防護を徹底した医療スタッフが対応するなど、最大限のリスクマネジメントを行う。またコース配置員を各担当エリアに配置する際は、移送用バスの車内が密状態にならないよう、通常大会よりもバスを増車する。
- (主な対策)
- レース中に選手が捨てた衣類やボトル等は、競技自主整理員がトンブ等を用いて回収し、原則として全て廃棄する。
 - 給水所にて受け取った水等を他の競技者と回し飲みすることを禁止する。
 - コース上を走行する医務車を増車し、レース途中、体調不良によりリタイアした選手に対しては、新型コロナウイルス感染症の可能性を考慮し、感染防護を徹底した医師又は看護師が対応する。
 - コース配置員や競技役員を担当エリアまで移送するバスを増車する。乗車率が50%以下とし、乗員同士の間隔を空けるよう呼びかける。
- 6 フィニッシュ後
- フィニッシュ後の選手で競技場内が滞留することにより感染リスクが高まるのを防ぐため、入賞選手以外の選手は速やかに競技場からの退出を促し、競技場外に設置したテントにおいて更衣や休憩を行う(その際、選手同士のソーシャルディスタンスを十分に確保する)。また、閉会式は実施せず、ドーピング検査では検査員の検温やフェイスシールド等の着用、検査室の換気等、基本的な感染予防策を徹底する。
- (主な対策)
- 競技場に隔離用設備を設置し、医療スタッフを配置する。
 - フィールド内整理係は、フィニッシュ後の選手に対し、速やかに競技場から退出するよう促す。(表彰される選手を除く。)
 - 閉会式を実施しない。
 - 各クラスの入賞選手に対する表彰は、随時大会役員からメダル及び企業賞を手渡すなど、簡易なものとする。その際、選手はマスク(フィニッシュ後に提供)を着用するとともに、大会役員はマスク及びフェイスシールドを着用する。
 - 選手をホテル等へ移送するバスを、乗車率が50%以下になるように増車し、乗員同士の間隔を空けるよう呼びかける。
 - 更衣用テントを競技場外に設置し、一度に入場できる人数を最大3名までに制限する。また、テント内における会話を控えるよう呼びかける。
 - 競技場内に落ちているゴミを回収する際はトンブを使用し、ゴミに直接触れないようにする。
- (4)メディアの感染予防策
- 取材可能な人数を1社につき原則2名までとする。
 - 取材申込は全て事前申請制とし、報道関係者用のADカードを事前に発行する。
 - レース当日は、スタート地点(城址公園内)と競技場に報道受付を設置する。受付時に渡されるビブスを着用の上、それぞれの会場において指定されたエリア内で取材を行う。(詳細は、大会事務局の作成する「報道のしおり」を参照すること。)
 - 報道関係者に対しても、受付において検温及び体調管理チェックシートの確認を行う。検温の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる場合、もしくは体調管理チェックシートにおいて疑い症状が見られる場合は、受付において取材を認めない旨を通告する。

- スタート地点における選手への個別取材は禁止する。

第4章 感染者等が発生した場合の対応

- (1)感染疑い者が発生した場合の行動
- (i)スタート地点付近で発生した場合
- ①当日の検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる者がいた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良(明らかに該当しない外傷等を除く。以下同じ。)を申し出る者がいた場合、新型コロナウイルス対応係は、速やかに隔離用設備へ誘導する。(体調管理チェックシートにおける検温の結果、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められた者については、隔離用設備において再度検温を行う。以下同じ。)
- ②スタート地点周辺道路の交通規制が行われていない場合、新型コロナウイルス対応係は、大会事務局の定める後方支援病院(以下、後方支援病院と称す。)へ連絡し、受診調整を行う。その後、事務局が用意した車両により、対象者を後方支援病院へ移送する。なお、スタート地点周辺道路の交通規制が行われていない場合、新型コロナウイルス対応係は交通規制が解除されるまでの間、隔離用設備で待機するよう対象者に指示した上で受診調整を行う。交通規制解除後は、速やかに対象者の移送を行う。
- ③診察(問診)の結果、新型コロナウイルス感染症の感染のおそれがないと認められる場合でも、レースに向けた準備や業務への復帰等は認めない。
- ④対象者の退出後、新型コロナウイルス対応係は隔離用設備内の消毒を行う。
- (ii)競技場内で発生した場合
- ①当日の検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる者がいた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良を申し出る者がいた場合、新型コロナウイルス対応係は、速やかに隔離用設備へ誘導する。
- ②医師による診察(問診)の結果、より詳細な検査や治療の必要等があると認められる場合、新型コロナウイルス対応係は、後方支援病院へ連絡し受診調整を行う。
- ③診察(問診)の結果、新型コロナウイルス感染症の感染のおそれがないと認められる場合でも、業務への復帰等は認めない。なお、その後も不調が続く場合は、競技場内の医務室で回復するまで安静にしてもらう。
- ④対象者の退出後、新型コロナウイルス対応係は隔離用設備の消毒を行う。
- ⑤②において、対象者が自力で後方支援病院を受診することが困難な場合、後方支援病院へ移送する。(車両への誘導・乗降時の介助・医療機関までの運搬は新型コロナウイルス対応係が行う。)なお、車両を使用した場合は、新型コロナウイルス対応係が車内を消毒し、次の対応に備える。
- (iii)コース途中で発生した場合
- ①体調不良による選手のリタイア等が生じた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良を申し出る者がいた場合、各エリアの配置責任者は、大会本部に連絡し、現況を報告する。
- ②大会本部は、コースを走行する医務車に対し、現場への急行を指示する。(対象者が選手である場合は、併せて緊急対応車に対しても現場への急行を指示する。)
- ③医務車到着後、医務車に収容し競技場に搬送する。(対象者が選手である場合、競技用車いすは消毒の上、緊急対応車が収容する。)なお、対象者が重症である場合は、後方支援病院に直接搬送する事も検討する。
- ④競技場に搬送した後の手順は、(ii)に同じ。なお、使用した医務車は、乗員が適切な方法で消毒し、次の使用に備える。
- (iv)前日受付会場で発生した場合
- ①当日の検温において、37.0度以上又は平素の体温よりも高いと認められる者がいた場合や、疑い症状をはじめとする体調不良を申し出る者がいた場合、速やかに隔離用設備へ誘導する。
- ②新型コロナウイルス対応係は、後方支援病院へ連絡し受診調整を行い、事務局が用意した車両で対象者を後方支援病院へ移送する。
- ③診察(問診)の結果、感染のおそれがないと認められる場合でも、受付や業務への復帰等は認めない。
- ④対象者の退出後、新型コロナウイルス対応係は隔離用設備の消毒を行う。
- (2)感染者を確認した場合の対応
- (i)選手を対象とした前日の検査において陽性者がいた場合
- ①検査実施機関から陽性者を確認した旨の報告を受けた場合、大会事務局は当該選手の氏名等、検査結果の詳細を検査実施機関に確認する。
- ②大会事務局は、①において確認した情報を、速やかに後方支援病院、大分県福祉保健部感染症対策課及び管轄保健所と共有する。
- ③後方支援病院の医師は、当該選手に連絡し、検査結果が陽性であった旨を伝えるとともに、感染症法に基づく届出を管轄保健所に提出する。
- ④大会事務局は当該選手に連絡し、「検査結果が陽性であるため、大会への参加を認めない。」旨を通告するとともに、直前数日間の行動について聴取する。
- ⑤④の結果、大会に参加予定の選手・介助者等の中に接触者がいた場合、大会事務局は当該者に連絡し、事実確認を行う。(陽性者との接触に伴い感染が疑われると事務局が判断した場合は、大会への参加を認めない事を通告する。)
- ※感染症法に基づく積極的疫学調査(濃厚接触者の有無の確認)は、管轄保健所が行う。入院等の調整は大分県福祉保健部感染症対策課が行う。
- (ii)大会終了後2週間以内に感染の報告を受けた場合
- ①大会事務局は、大会終了後2週間以内に、医療機関又は大会関係者から新型コロナウイルス感染症の感染の報告を受けた場合、大分県福祉保健部感染症対策課に情報提供を行い、感染者が発生した旨の情報発信を行う必要性について協議する。(必要に応じて、感染症対策課から大分市保健所にも情報提供を行う。)
- ②①の協議結果を踏まえ、感染の事実を不特定多数の人に知らせる必要があると大会事務局が判断した場合、大会ホームページやプレス発表等による周知を行う。また、選手及びスタッフ等に対しては、あらかじめ作成したメーリングリストを用いて、メールにより情報提供を行う。なお、公表する場合は、その内容を含めて一般社団法人日本陸上競技連盟に事前に報告する。

(別紙1) 体調管理チェックシート (大会前)



新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(大会前/提出用)

令和2年 月 日

本チェックシートは、大会において新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、参加者の健康状態を確認することを目的としています。本チェックシートに記入いただいた個人情報については、厳正なる管理のもとに保管し、健康状態の把握、出場可否の判断および必要な連絡のためにのみ利用します。また、個人情報保護法等の法令において認められる場合を除き、本人の同意を得ずに第三者に提供しません。但し、大会会場にて感染症患者またはその疑いのある方が発見された場合に、必要な範囲で保健所等に提供することがあります。

・大会2週間前から記入し、大会当日の受付で提出してください。(選手及び介助者の方は、前日受付にて確認後返却しますので、翌日(11月15日)の体調を追記し、当日の受付でも提出してください。)

・症状に関して、該当に○印、他の症状がある場合は記入をしてください。(体温は0.1℃単位まで記入をしてください。)

日付	10月31日	11月1日	11月2日	11月3日	11月4日	11月5日	11月6日	11月7日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咳(せき)が出る	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
痰がからむ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
鼻水・鼻づまり※	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
体のだるさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
発熱の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
息苦しさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
味覚異常(味がしない)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
嗅覚異常(匂いがしない)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

※アレルギー由来のものを除く

日付	11月8日	11月9日	11月10日	11月11日	11月12日	11月13日	11月14日	11月15日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
咳(せき)が出る	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
痰がからむ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
鼻水・鼻づまり※	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
頭痛	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
体のだるさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
発熱の症状	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
息苦しさ	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
味覚異常(味がしない)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無
嗅覚異常(匂いがしない)	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無	有・無

※アレルギー由来のものを除く

氏名		連絡先		所属名	
----	--	-----	--	-----	--

裏面の同意書にも署名の上、提出してください。

同意書

私は、以下(1)から(3)の全ての事項について同意の上、大分県いすまらソン2020に参加します。

- (1) 大分県いすまらソン2020の主催者が、参加者の新型コロナウイルス感染症への感染について責任を負わないこと
- (2) 高齢者及び基礎疾患を有する者にあつては、新型コロナウイルス感染症に感染した場合、重症化リスクが高いことを認識していること
- (3) 若年者や基礎疾患を有しない者等であっても、新型コロナウイルス感染症に感染する可能性があることを認識していること

参加者氏名 (自署) _____

代筆者氏名 (自署) _____

(別紙2) 体調管理チェックシート (大会後)



新型コロナウイルス感染症についての体調管理チェックシート(大会後/保管用)

・症状に関して、該当に○印、他の症状がある場合は記入をしてください。(体温は0.1℃単位まで記入をしてください。)

日付	11月16日	11月17日	11月18日	11月19日	11月20日	11月21日	11月22日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無						
咳(せき)が出る	有・無						
痰がからむ	有・無						
鼻水・鼻づまり※	有・無						
頭痛	有・無						
体のだるさ	有・無						
発熱の症状	有・無						
息苦しさ	有・無						
味覚異常(味がしない)	有・無						
嗅覚異常(匂いがしない)	有・無						

※アレルギー由来のものを除く

日付	11月23日	11月24日	11月25日	11月26日	11月27日	11月28日	11月29日
体温	℃	℃	℃	℃	℃	℃	℃
のどの痛み	有・無						
咳(せき)が出る	有・無						
痰がからむ	有・無						
鼻水・鼻づまり※	有・無						
頭痛	有・無						
体のだるさ	有・無						
発熱の症状	有・無						
息苦しさ	有・無						
味覚異常(味がしない)	有・無						
嗅覚異常(匂いがしない)	有・無						

※アレルギー由来のものを除く

新型コロナウイルス感染症 相談・受診の目安
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html (厚生労働省HP)

【2020大会役員】(Executive Committee Members)

大会会長	大分県知事		広瀬 勝 貞
副会長	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会	会 長	鳥原 光 憲
副会長	一般社団法人日本パラ陸上競技連盟	会 長	増田 明 美
副会長	大分市長		佐藤 樹一郎
副会長	大分合同新聞社	代表取締役社長	長野 景 一
副会長	社会福祉法人大分県社会福祉協議会	会 長	草野 俊 介
副会長	大分県障がい者スポーツ協会	会 長	草野 俊 介
顧問	オムロン株式会社	代表取締役社長	山田 義 仁
顧問	一般財団法人大分陸上競技協会	会 長	小手川 強 二
顧問	大分県教育委員会	教 育 長	工藤 利 明
顧問	大分市教育委員会	教 育 長	三浦 享 二
顧問	公益財団法人大分県スポーツ協会	会 長	麻生 益 直
顧問	一般社団法人大分県身体障害者福祉協会	会 長	佐藤 一 夫
顧問	社会福祉法人大分合同福祉事業団	理 事 長	長野 健 夫
顧問	社会福祉法人太陽の家	理 事 長	山下 達 夫
顧問	大分県警察本部	本 部 長	竹迫 宜 哉
顧問	陸上自衛隊第41普通科連隊	連 隊 長	中村 英 昭
参 与	大分県土木建築部	部 長	湯地 三子弘
参 与	大分県警察本部交通部	部 長	木村 浩 和
参 与	大分市土木建築部	部 長	清水 剛
参 与	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	常務理事	山田 登志夫
参 与	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	理事・医学委員長	陶山 哲 夫
参 与	大分合同新聞社	常務取締役新聞事業本部長	佐藤 政 昭
参 与	別府重度障害者センター	所 長	工藤 裕 司
委 員 長	大分県福祉保健部	部 長	廣瀬 高 博
副委員長	大分市福祉保健部	部 長	斉藤 修 造
副委員長	大分合同新聞社	常務執行役員マーケティング統括局長	児玉 真 路
副委員長	一般財団法人大分陸上競技協会	理 事 長	稲津 喜 英
委 員	大分県教育庁	体育保健課長	加藤 寛 章
委 員	大分県警察本部交通部	交通規制課長	後藤 和 樹
委 員	大分県警察本部交通部	交通機動隊長	佐藤 隆 俊
委 員	大分中央警察署	署 長	工藤 秀 幸
委 員	大分東警察署	署 長	芹川 俊 彦
委 員	大分市福祉保健部	障害福祉課長	永田 浩 貴
委 員	大分市企画部スポーツ振興課	審議監兼スポーツ振興課長	三好 正 昭
委 員	大分合同新聞社	マーケティング統括局イベント事業部長	高屋 康 祐
委 員	株式会社大分放送	常務取締役営業局長	砂原 哲 也
委 員	一般財団法人大分陸上競技協会	総務部長	原 俊 介
委 員	大分県障害者スポーツ指導者協議会	会 長	池 部 純 政
委 員	別府重度障害者センター	運動療法士長	木畑 聡
委 員	社会福祉法人太陽の家	健康支援課長	神鳥 澄 男
委 員	大分身体障害者陸上競技協会	会 長	佐藤 隆 信
委 員	通訳ボランティア Can-do	代 表	後藤 恵 子
委 員	公益財団法人日本障がい者スポーツ協会	医学委員	中村 太 郎

【世界パラ陸上競技連盟】(World Para Athletics)

Technical Delegate (技術代表) 関 幸生

【競技役員】(Race Officials)

(◎は主任)

総務	稲津 喜英			
総務員	原 俊介	上杉 貴志	町田 圭	
JPA - NTO	山田 昇	関根 春幸	吉田 徹	
技術総務	円本 宗秋	石橋 壽利	泥谷 和幸	宮川 剛
国際道路コース計測員	苅込 英明			
ジュリー	宮田 英明 (JPA から派遣)	岡松 眞明	河野 信治	船越 武典
	下城 重喜			
審判長	田崎 弘宣 (マラソン)	小俣 秀之 (ハーフ)		
監察員	◎工藤 啓記 (マラソンA)	渡邊 仙蔵 (マラソンB)	阿南 憲治 (マラソンC)	
	熊谷 明 (マラソンD)	森崎 宣和 (マラソンE)		
	◎田中 義博 (ハーフA)	淵 俊伸 (ハーフB)	染矢 睦 (ハーフC)	
決勝審判員	◎堤 紘一 (マラソン)	西村 義弘	石井知由美	添田 順子
	◎羽田野明美 (ハーフ)	西 親則	松崎 安男	石川 康壽
計時員	◎栗林 敏勝 (マラソン)	井上 啓司	松浦 利美	高橋孝一郎
	◎増村 栄彦	甲斐 忠行	波多野正夫	三上 忠明
	橋本 孝之			
写真判定員	◎志賀 哲哉	三代 照良	中島 益章	
トランスポンダー係	◎渡邊 健太	石田 元彦		
スターター	◎榮木 一	田中 繁		
記録員	◎永松千恵子	秦 卓司	鳩野 美沙	
報道係	◎大西 竜一	徳光 久	堀田 幸忠	
競技者係兼出発係	◎坂本 智美 (マラソン) (兼)	山西 敏晴 (兼)	安東 寿子	梶原 清美
	◎三代 寿子 (ハーフ)	阿部 光佳	園田 明美	柳井 國明 (兼)
	財津美紀夫 (兼)	仲摩 勝春 (兼)		
気象計測員	◎羽田野二郎			
役員係	◎安部 明美	藤井 宗隆	首藤 麻希	内田 貞美
	川野 智暖	児玉 和也		
マーシャル	◎中野 明美	長光 一則	山口 美利	
用器具係	◎柴山 広	大戸 功雄	森本 秀治	中村 健治
収容車係	◎足立 完治	日名子義生	河野 勝彦	
医務係	◎坂本真由美	若林為久子	吉川 弥生	
放送係	相原 望			
ドーピング コントロールオフィサー	◎堀之内弘恵	河野 昇治	佐藤 洋子	赤羽 友子
	大津 成夫			
シャペロン	◎伊東 清信	三宅美智子	仲摩 昇	首藤 昭光

関門役員

マラソン 5km ◎川下喜代人
 ハーフ 5km ◎甲斐 鉄朗
 第一折返し点 ◎柴田 和己
 マラソン 10km ◎山本 豊
 ハーフ 10km ◎諸田 義信
 ハーフ第二折返し点 ◎佐藤 吉明
 マラソン 15km ◎甲斐 強
 ハーフ 15km ◎村西 栄二
 マラソン 20km ◎吉川 正文
 ハーフ 20km ◎杉本 和之
 マラソン中間点 ◎野田 一重
 25km ◎明石 敦郎
 マラソン第二折返し点 ◎三嶋 一哲
 30km ◎足立 達哉
 35km ◎板井 新一
 40km ◎櫻井 貢

平山 勝治
 宅野 成喜
 藤田 義昭
 坂巻 諄
 川野 恵子
 竹内 邦弘
 判田 剛
 飛田 祥子
 須磨 長徳
 佐藤 晃
 戸曾 正博
 山口 計
 河津 智顕
 近藤めぐみ
 東本 孝
 上久保陽子

鳴海さくみ
 濱崎義日出
 井上 達夫
 後藤 憲行
 菅田 俊介
 後藤 信介
 井上淳之助
 中島 英利
 長峰 徳幸
 神崎 真一
 明石 哲也
 工藤 早苗

柴田 順子
 高瀬 哲生
 後藤 信徳
 財津 高喜
 高瀬 政寛
 由迫 英恭
 工藤 武子
 浅野佳代子
 立川三枝子
 奥下 美保
 川村 英子

給水係

10km ◎宮脇 清夫
 20km (マラソン) ◎横濱 正
 30km ◎溝口 誠志
 40km ◎武石 弘志
 ◎油布 晋一

梶原 五男
 小野 浩之
 久寿米木雄二
 武内 三朗

藤沢 利光
 野田 浩

走路審判員

◎柴北 育昌

スタート地点付近(兼務)

城崎交差点
 津留交差点
 商業高校前交差点
 中島十条交差点
 新川交差点
 浜町交差点
 春日浦交差点
 王子町交差点
 日本製鉄前交差点
 三海橋西交差点
 三海橋東交差点
 三佐田交差点
 下鶴崎交差点
 住友化学前
 鶴崎家電前
 下鶴崎ちびっこ公園前
 茶寮倉掛前
 プレミール鶴崎前
 プレミール鶴崎先駐車場前
 住化南門
 鶴崎機械工業所前
 佐藤塗工前
 矢野コーポ前
 徳島ガード下
 グレード藤沢前
 阿部食糧前
 小中島郵便局前
 ダイニテック前
 小中島天満神社前
 日豊運送前
 日豊運送先
 王子マテリア前
 晃栄産業前
 家島カーブ (朝日工業前~)
 平和ハウス前
 大野川大橋入口交差点
 大分医療センター入口交差点
 竹下入口交差点
 久原入口交差点
 大在公共ふ頭入口交差点

山西 敏晴 (兼)
 仲摩 勝春 (兼)
 高司浩一郎
 副田 博文
 飯干 順一
 川津 一
 岳尾 元勝
 國廣 幸子
 高瀬 亮太
 姫野 昭彦
 小間 敏子
 新貝 隆
 新宮 眞二
 酒井 宏
 吉原誠一郎
 箕河原 幹
 衛藤 昭
 榎木野愛理
 桑原 昇造
 竹丸由香里
 徳谷 晃一
 赤崎 惣
 財津 廣記
 小俣賢二郎
 桃田 結香
 後藤 大輔
 渡邊 和也
 川上 未喜
 小山 建
 後藤 博文
 宮川喜久生
 西山 祐一
 拂川 真寿
 大庭 恵一
 金丸 和浩
 柳井 幸子
 後藤 和久
 中島 祥子
 小野 千里
 黄 壮大
 丸尾 直彦
 鳥倉 秀聖

柳井 國明 (兼)
 梶原 清美 (兼)
 石丸 玲子
 佐藤 陽子
 中村 政子
 山田 義高
 倉野 造成
 後藤こずえ
 梁矢 雄二
 佐藤 重康
 日高 千紘
 高山 定
 山本 利光
 川野奈緒美
 長野由美子
 岩尾 雅弘

財津美紀夫 (兼)
 上久保 晃
 原田 枝美

大分車いすマラソン2020 スケジュール

時刻	11月14日 (土)	11月15日 (日)
8:00		00 ウォームアップ
9:00	00 選手受付 (大分県庁舎本館)	25 選手整列開始 40 交通規制開始 57 スタート地点整列完了
10:00		00 マラソンスタート 03 ハーフマラソンスタート
11:00		45 ハーフ トップフィニッシュ見込 20 マラソン トップフィニッシュ見込
12:00	00	10 ハーフ フィニッシュ地点閉鎖
13:00	00 有力選手記者会見 (大分県庁舎) 30	00 マラソン フィニッシュ地点閉鎖
14:00		
15:00		
16:00		
17:00		
18:00		
19:00		
20:00		

スタート次第

令和2年11月15日(日) 大分県庁前

時刻	式次第	備考
8:00	1 ウォームアップ開始	
9:25	2 ウォームアップ終了	
9:25	3 選手整列開始	
9:35	4 スタート地点交通規制開始	
9:45	5 選手整列完了	
9:50	6 スタート地点選手誘導開始	
9:57	7 選手ラインアップ完了	
10:00	8 マラソンスタート	
10:03	9 ハーフマラソンスタート	

○入賞選手の企業賞について

オムロン株式会社より

“オムロン杯” をマラソン T34/53/54男子の1位選手へ授与

新日本製薬株式会社より

“パーフェクトワン” をマラソン T34/53/54女子の1位～3位選手へ授与

大会記録など

マラソン 男子

	種別	記録	氏名	国名等	大会名
T51	世界記録	2°23'08"	ハインリッヒ クーベール	ドイツ	1995 ベルリン
	日本記録	2°30'32"	井上 聡	愛媛県	2006 サン・アントニオ
	大会記録	2°27'07"	ピーター・ドウ・ブレア	南アフリカ	2019 大分国際
	アジア	2°10'00"	テトゥイン, E	カザフスタン	2003 Taldykorgan
	オセアニア	-	-	-	-
	ヨーロッパ	2°23'08"	ハインリッヒ クーベール	ドイツ	1995 ベルリン
	アメリカ	3°13'42"	ナバホ・サンチェス	メキシコ	2004 ギリシャ
	アフリカ	2°27'07"	ピーター・ドウ・ブレア	南アフリカ	2019 大分国際
T33/T52	世界記録	1°40'07"	トーマス ガイアシュペヘラー	オーストリア	2008 北京パラ
	日本記録	1°40'10"	上与那原 寛和	沖縄県	2008 北京パラ
	大会記録	1°43'46"	サンティアゴ サンツ	スペイン	2007 大分国際
	アジア	1°58'39"	伊藤 智也	日本	2002 大分国際
	オセアニア	-	-	-	-
	ヨーロッパ	1°40'07"	トーマス ガイアシュペヘラー	オーストリア	2008 北京パラ
	アメリカ	1°52'27"	マーティン レイモンド	アメリカ	2015 ロンドン
	アフリカ	2°09'04"	ジディー・オマー	チュニジア	2008 北京パラ
T34/T53/54	世界記録	1°20'14"	ハインツ フライ	スイス	1999 大分国際
	日本記録	1°20'52"	洞ノ上 浩太	福岡県	2013 ソウル
	大会記録	1°20'14"	ハインツ フライ	スイス	1999 大分国際
	アジア	1°22'55"	鈴木 朋樹	東京都	2019 大分国際
	オセアニア	1°23'17"	クート・ファンリー	オーストラリア	2008 北京パラ
	ヨーロッパ	1°20'14"	ハインツ フライ	スイス	1999 大分国際
	アメリカ	1°23'20"	ジョージ マルティネス	メキシコ	2008 北京パラ
	アフリカ	1°23'18"	エレンスト・ヴァンダイク	南アフリカ	2008 北京パラ

マラソン 女子

	種別	記録	氏名	国名等	大会名
T51	世界記録			※記録なし	完走者なし
	日本記録			※記録なし	完走者なし
	大会記録			※記録なし	完走者なし
	アジア			※記録なし	完走者なし
	オセアニア			※記録なし	完走者なし
	ヨーロッパ			※記録なし	完走者なし
	アメリカ			※記録なし	完走者なし
	アフリカ			※記録なし	完走者なし
T33/T52	世界記録	2°07'28"	八巻 智美	福島県	2008 大分国際
	日本記録	2°07'28"	八巻 智美	福島県	2008 大分国際
	大会記録	2°07'28"	八巻 智美	福島県	2008 大分国際
	アジア	2°07'28"	八巻 智美	福島県	2008 大分国際
	オセアニア	—	—	—	—
	ヨーロッパ	—	—	—	—
	アメリカ	—	—	—	—
	アフリカ	—	—	—	—
T34/T53/54	世界記録	1°35'42"	マニュエラ・シャー	スイス	2019 大分国際
	日本記録	1°35'50"	喜納 翼	沖縄県	2019 大分国際
	大会記録	1°35'42"	マニュエラ・シャー	スイス	2019 大分国際
	アジア	1°35'50"	喜納 翼	沖縄県	2019 大分国際
	オセアニア	1°42'59"	クリスティー・ドウス	オーストラリア	2016 リオパラ
	ヨーロッパ	1°35'42"	マニュエラ・シャー	スイス	2019 大分国際
	アメリカ	1°36'26"	スザンナ・スカロニ	アメリカ	2019 大分国際
	アフリカ	1°52'19"	メスト.S	チュニジア	2008 北京パラ

ハーフマラソン 男子

	種別	記録	氏名	国名等	大会名
T51	世界記録	※公認制度なし			
	日本記録	1°04'09"	三浦 尊	愛知県	1999 大分国際
	大会記録	1°04'09"	三浦 尊	愛知県	1999 大分国際
T33/T52	世界記録	※公認制度なし			
	日本記録	49'38"	上与那原 寛和	沖縄県	2008 長野
	大会記録	53'10"	佐藤 友祈	静岡県	2014 大分国際
T34/T53/54	世界記録	※公認制度なし			
	日本記録	40'21"	久保 恒造	福岡県	2018 はまなす
	大会記録	43'46"	渡辺 勝	福岡県	2016 大分国際

ハーフマラソン 女子

	種別	記録	氏名	国名等	大会名
T51	世界記録	※公認制度なし			
	日本記録	※記録なし			
	大会記録	※記録なし			
T33/T52	世界記録	※公認制度なし			
	日本記録	1°03'09"	八巻 智美	福島県	2008 長野
	大会記録	58'03"	ジェニー エリザベット ルンドブラッド	スウェーデン	2002 大分国際
T34/T53/54	世界記録	※公認制度なし			
	日本記録	48'56"	畑中 和	兵庫県	2000 福井
	大会記録	49'36"	土田 和歌子	東京都	2000 大分国際

都道府県別エントリー状況

令和2年10月20日現在

都道府県名 Prefecture	マラソン Marathon		ハーフマラソン Half Marathon		合計 Total
	男 Male	女 Female	男 Male	女 Female	
北海道			1	1	2
青森県					
岩手県					
宮城県					
秋田県					
山形県					
福島県					
茨城県					
栃木県					
群馬県					
埼玉県	1				1
千葉県	1		1		2
東京都	2	1	2		5
神奈川県					
新潟県					
富山県					
石川県			1		1
福井県			3		3
山梨県					
長野県					
岐阜県					
静岡県	1		3		4
愛知県	1		4		5
三重県					
滋賀県					
京都府	1		4		5
大阪府	3		7		10
兵庫県			3		3
奈良県					
和歌山県					
鳥取県			1		1
島根県					
岡山県	1		2	1	4
広島県			1		1
山口県					
徳島県					
香川県					
愛媛県			1		1
高知県			2		2
福岡県	4		7	1	12
佐賀県			5		5
長崎県	1		2		3
熊本県			4	1	5
大分県	3		17	1	21
宮崎県			5		5
鹿児島県			2		2
沖縄県	1	1	1	1	4
計	20	2	79	6	107

歴代優勝者とその記録

★世界記録 *大会記録

	マラソン				ハーフマラソン			
	男		女		男		女	
	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位	総合優勝	国内1位
第1回	—	—	—	—	ガオルグ・フロイント オーストリア 1° 01' 46"	宇田津 幸男 大阪府 1° 12' 42"	マーシャ・ピバード アメリカ 1° 21' 43"	中村 広美 鹿児島県 1° 45' 20"
第2回	—	—	—	—	リック・ハンセン カナダ 58' 30"	松井 順一 長野県 1° 08' 05"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 13' 26"	坂元 りつ子 大阪府 1° 35' 56"
第3回	グレコル・ボンベック 西ドイツ 2° 07' 54"	山本 行文 大分県 2° 22' 20"	キャンディス・ケープル アメリカ 2° 35' 48"	—	ポール・ファン・ウィンケル ベルギー 1° 05' 24"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 17' 57"	幸塚 直子 石川県 1° 27' 53"	—
第4回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 48' 25"	山本 行文 大分県 2° 00' 47"	キャンディス・ケープル アメリカ 2° 21' 09"	幸塚 直子 石川県 2° 38' 14"	メジャリ・アル・オタイビ クウェート 58' 33"	永尾 嘉章 兵庫県 1° 06' 33"	ピン・チャー 香港 1° 21' 28"	岩田 いつ子 愛知県 1° 27' 24"
第5回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 49' 46"	山本 行文 大分県 2° 00' 48"	ガブリエル・シルト スイス 2° 46' 42"	—	クリス・マクドナルド メキシコ 59' 39"	宮居 昌彦 和歌山県 1° 07' 36"	シャロン・フレネット アメリカ 1° 14' 58"	多智 利枝 東京都 1° 24' 35"
第6回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 45' 36"	山本 行文 熊本県 1° 50' 05"	アンジェラ・イリティ カナダ 1° 58' 51"	多智 利枝 東京都 3° 02' 16"	林 誠二 — 1° 00' 47"	—	カレン・ウィルソン イギリス 1° 20' 38"	岩田 いつ子 愛知県 1° 22' 51"
第7回	アンドレ・ヴィジェ カナダ 1° 44' 18"	山本 行文 熊本県 1° 53' 36"	アンジェラ・イリティ カナダ 2° 04' 31"	岩田 いつ子 愛知県 2° 42' 22"	サウル・メンドーサ メキシコ 56' 20"	伊藤 平太 佐賀県 1° 02' 16"	坂内 留美 東京都 1° 19' 09"	—
第8回	ポール・クラーク カナダ 1° 38' 27"	山本 行文 熊本県 1° 42' 42"	コニー・ハンセン デンマーク 2° 05' 28"	—	マヌエル・カサス メキシコ 55' 22"	竹村 克明 埼玉県 1° 04' 06"	イングリッド・ラリツィン デンマーク 1° 09' 20"	坂内 留美 東京都 1° 15' 40"
第9回	ムスタファ・パティ フランス 1° 40' 45"	山本 行文 熊本県 1° 43' 21"	ジャネット・ジャンセン オランダ 1° 48' 45"	坂内 留美 東京都 2° 09' 09"	ラジャ・シン シンガポール 52' 58"	山田 和宏 岡山県 1° 01' 58"	イングリッド・ラリツィン デンマーク 58' 57"	畑中 和 兵庫県 1° 06' 45"
第10回	ハインツ・フライ スイス 1° 39' 35"	山口 悟志 大阪府 1° 47' 07"	ジャネット・ジャンセン オランダ 1° 47' 09"	長谷川 尚美 兵庫県 1° 51' 31"	ロベルト・フィグル ドイツ 48' 26"	須田 伸太郎 山形県 57' 06"	ディアンナ・ソドマ アメリカ 1° 00' 03"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 10"
第11回	ハインツ・フライ スイス 1° 35' 46"	川島 誉 和歌山県 1° 45' 44"	コニー・ハンセン デンマーク 1° 47' 45"	畑中 和 兵庫県 2° 02' 10"	サウル・メンドーサ メキシコ 49' 42"	中田 達也 京都府 55' 19"	イングリッド・ラリツィン デンマーク 1° 01' 54"	伊藤 由美 東京都 1° 07' 49"
第12回	ケリッジ・スチャポート 南アフリカ 1° 35' 47"	山本 行文 熊本県 1° 43' 29"	リリー・アングレニー ドイツ 1° 48' 35"	畑中 和 兵庫県 1° 54' 28"	ジェイク・バイル アメリカ 53' 47"	山見 誠治 福岡県 53' 47"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 57' 06"	藤原 志保 静岡県 1° 06' 24"
第13回	ハインツ・フライ スイス 1° 34' 35"	中村 博之 大阪府 1° 39' 56"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 52' 06"	畑中 和 兵庫県 1° 56' 34"	ホルム・ルヤ・ゼベダ メキシコ 47' 04"	野沢 英二 青森県 50' 32"	南野 教子 福岡県 1° 08' 02"	—
第14回	ハインツ・フライ スイス 1° 30' 54"	室塚 一也 北海道 1° 39' 09"	ジャンタル・ブティック カナダ 2° 01' 58"	南野 教子 福岡県 2° 27' 35"	ジム・C・マーティンソン アメリカ 48' 07"	野沢 英二 青森県 53' 05"	ドラ・カンパ・エストラダ メキシコ 1° 05' 14"	藤原 志保 静岡県 1° 07' 52"
第15回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 38"	室塚 一也 北海道 1° 30' 54"	畑中 和 — 1° 44' 36"	—	エリック・ナイツェル アメリカ 46' 32"	野沢 英二 青森県 49' 59"	コニー・ハンセン デンマーク 55' 19"	櫻田 陽子 神奈川県 59' 05"
第16回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 24"	廣道 純 兵庫県 1° 31' 12"	ルイズ・ザヴァージュ オーストラリア 1° 45' 03"	畑中 和 兵庫県 1° 48' 08"	エリック・ナイツェル アメリカ 47' 12"	西田 聡 長崎県 47' 16"	土田 和歌子 東京都 55' 30"	—
第17回	ハインツ・フライ スイス 1° 24' 49"	室塚 一也 北海道 1° 31' 34"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 40"	—	アロン・ゴルディアン メキシコ 45' 57"	野沢 英二 青森県 51' 41"	奥山 京子 山形県 54' 40"	—
第18回	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 55"	室塚 一也 北海道 1° 34' 51"	モニカ・ベテルストロム スウェーデン 1° 51' 36"	土田 和歌子 東京都 1° 56' 34"	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 37"	渡辺 幹司 大分県 46' 40"	リアデン・エルナンデス メキシコ 56' 16"	高良 依子 沖縄県 1° 00' 01"
第19回	ハインツ・フライ スイス ★1° 20' 14"	室塚 一也 北海道 1° 31' 55"	畑中 和 兵庫県 1° 44' 31"	—	藤川 泰博 兵庫県 46' 50"	—	グニラ・ワングレン スウェーデン 51' 30"	川島 由美 愛知県 57' 09"
第20回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 03"	室塚 一也 北海道 1° 30' 32"	畑中 和 兵庫県 1° 42' 53"	—	エクトル・エルナンデス メキシコ 46' 40"	藤田 英二 山口県 46' 41"	土田 和歌子 東京都 *49' 36"	—
第21回	ハインツ・フライ スイス 1° 22' 20"	廣道 純 大分県 1° 29' 38"	土田 和歌子 東京都 *1° 38' 32"	—	渡辺 習輔 大分県 45' 01"	—	長澤 麻子 山梨県 1° 02' 16"	—
第22回	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	廣道 純 大分県 1° 30' 20"	土田 和歌子 東京都 1° 44' 39"	—	ポール・ナナリー オーストラリア 47' 04"	寒川 進 京都府 47' 05"	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 58' 03"	小峯 直美 愛知県 1° 03' 30"
第23回	ジョエル・ジャン フランス 1° 25' 43"	クリスチン・フランコ 大分県 1° 29' 59"	土田 和歌子 東京都 1° 40' 01"	—	渡辺 習輔 大分県 44' 37"	—	ジェニー・ルンドブラッド スウェーデン 1° 00' 59"	小峯 直美 愛知県 1° 03' 16"

歴代優勝者とその記録

マラソン

★世界記録 *大会記録

	男子			女子			国内1位
	T51	T52	T53/54	T51	T52	T53/54	
第24回	完走者なし	吉本 茂 長野県 2° 04' 07"	イルスト・ヴァン タイ 南アフリカ 1° 28' 03"	出走者なし	リ・マリ・フランク カナダ 2° 10' 27"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 52' 25"	笹原 廣喜 大分県 1° 28' 31"
第25回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 39' 46"	伊藤 智也 三重県 2° 00' 02"	イルスト・ヴァン タイ 南アフリカ 1° 26' 37"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 19' 36"	ダイアン・ロイ カナダ 1° 46' 07"	笹原 廣喜 大分県 1° 26' 41"
第26回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 36' 24"	伊藤 智也 三重県 1° 52' 36"	笹原 廣喜 大分県 1° 24' 15"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 17' 49"	畑中 和 兵庫県 1° 39' 28"	笹原 廣喜 大分県 1° 24' 15"
第27回	ハインリッヒ・ターペル ドイツ 2° 40' 09"	サンティアゴ・サンツ スペイン * 1° 43' 46"	イルスト・ヴァン タイ 南アフリカ 1° 23' 22"	出走者なし	八巻 智美 福島県 2° 09' 50"	土田 和歌子 東京都 1° 38' 55"	山本 浩之 福岡県 1° 23' 22"
第28回	完走者なし	上与那原 寛和 沖縄県 1° 47' 17"	ハインツ・フライ スイス 1° 26' 06"	出走者なし	八巻 智美 福島県 ★ 2° 07' 28"	アマンダ・マクローリー アメリカ 1° 43' 33"	副島 正純 福岡県 1° 27' 36"
第29回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 37"	ハインツ・フライ スイス 1° 25' 46"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 21' 16"	土田 和歌子 東京都 1° 39' 35"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 12"
	男子			女子			国内1位
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第30回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 32' 36"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 50' 22"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 28"	出走者なし	ミシェル・ステイウェル カナダ 2° 30' 52"	アマンダ・マクローリー アメリカ 1° 44' 38"	洞ノ上 浩太 福岡県 1° 23' 30"
第31回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 50' 25"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 55"	出走者なし	出走者なし	サンドラ・グラフ スイス 1° 45' 37"	樋口 政幸 長野県 1° 24' 55"
第32回	井上 聡 愛媛県 2° 59' 13"	高田 稔浩 福井県 2° 00' 05"	マルセル・フグ スイス 1° 25' 08"	出走者なし	出走者なし	土田 和歌子 東京都 1° 43' 10"	山本 浩之 福岡県 1° 30' 09"
第33回	ステファン・ストローベル ドイツ 2° 37' 15"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 46' 09"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 49"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャー スイス 1° 38' 07"	山本 浩之 福岡県 1° 28' 38"
第34回	完走者なし	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 47' 29"	マルセル・フグ スイス 1° 21' 40"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャー スイス 1° 38' 42"	山本 浩之 福岡県 1° 28' 27"
第35回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 39' 52"	サンティアゴ・サンツ スペイン 1° 48' 01"	マルセル・フグ スイス 1° 24' 53"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャー スイス 1° 40' 46"	山本 浩之 福岡県 1° 25' 15"
第36回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 30' 53"	佐藤 友祈 岡山県 1° 49' 32"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 02"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 44' 56"	山本 浩之 福岡県 1° 26' 02"
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ 2° 37' 06"	佐藤 友祈 岡山県 1° 47' 57"	マルセル・フグ スイス 1° 23' 59"	出走者なし	出走者なし	喜納 翼 沖縄県 1° 39' 36"	鈴木 朋樹 千葉県 1° 24' 00"
第39回	ピーター・ドウ・プレア 南アフリカ * 2° 27' 07"	上与那原 寛和 沖縄県 1° 53' 04"	マルセル・フグ スイス 1° 22' 51"	出走者なし	出走者なし	マニエラ・シャー スイス ★ 1° 35' 42"	鈴木 朋樹 東京都 1° 22' 55"

歴代優勝者とその記録

ハーフマラソン

★世界記録 *大会記録

	男子			女子		
	T51	T52	T53/54	T51	T52	T53/54
第24回	濱添 要 大分県 1° 49' 31"	吉野 真旨 兵庫県 1° 07' 04"	渡辺 習輔 大分県 46' 05"	出走者なし	クリステン・メサー アメリカ 2° 07' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 33"
第25回	濱添 要 長崎県 1° 34' 05"	森島 英樹 兵庫県 1° 11' 16"	渡辺 習輔 大分県 47' 17"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 16' 16"	川島 由美 兵庫県 54' 56"
第26回	濱添 要 長崎県 1° 32' 51"	上与那原 寛和 沖縄県 53' 59"	吉田 高志 大分県 45' 06"	完走者なし	要田 美紀 東京都 1° 13' 29"	リユー・ウェン・ユン 中国 53' 55"
第27回	濱添 要 長崎県 1° 32' 56"	森島 英樹 兵庫県 1° 05' 53"	吉田 高志 大分県 45' 24"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 57"	宮本 美紀 岡山県 1° 00' 55"
第28回	濱添 要 長崎県 1° 36' 26"	浜上 悟 石川県 1° 04' 00"	渡辺 習輔 大分県 46' 51"	完走者なし	佐藤 由加 岡山県 1° 12' 37"	高崎 瑞喜 東京都 1° 02' 12"
第29回	濱添 要 長崎県 1° 36' 29"	松本 直幸 福岡県 1° 07' 38"	西原 宏明 京都府 45' 21"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 58"	リユー・ウェン・ユン 中国 55' 17"

	男子			女子			新人賞
	T51	T33/52	T34/53/54	T51	T33/52	T34/53/54	
第30回	濱添 要 長崎県 1° 31' 31"	佐藤 仁志 岡山県 1° 10' 14"	渡辺 習輔 大分県 45' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 11"	マニユエラ・シャースイス 54' 33"	
第31回	ケビン・ストークス アメリカ 1° 30' 46"	デュアン・モロー アメリカ 1° 06' 31"	リチャード・コールマン オーストラリア 48' 10"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 16"	マニユエラ・シャースイス 56' 58"	
第32回	長崎 裕也 東京都 1° 36' 01"	野田 昭和 鳥取県 56' 49"	佐矢野 利明 大分県 46' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 08' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 57' 22"	
第33回	平山 健悟 福岡県 1° 44' 42"	野田 昭和 鳥取県 55' 41"	ピエール・フェアバンク フランス 45' 05"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 10' 10"	ローズマリー・リトル オーストラリア 58' 44"	渡辺 勝 福岡県 46' 10"
第34回	清田 慎也 熊本県 1° 37' 40"	佐藤 友祈 静岡県 *53' 10"	松永 仁志 岡山県 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 09' 54"	ローズマリー・リトル オーストラリア 53' 11"	河室 隆一 大分県 50' 33"
第35回	清田 慎也 熊本県 1° 28' 53"	野田 昭和 鳥取県 53' 41"	渡辺 勝 福岡県 47' 32"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 12' 54"	中山 和美 神奈川県 53' 11"	田中 祥隆 福岡県 52' 29"
第36回	エルネスト・フォンセカ コスタリカ 1° 25' 11"	野田 昭和 鳥取県 56' 44"	渡辺 勝 福岡県 *43' 46"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 14"	リユー・ウェンユン 中国 52' 05"	武村 浩生 福岡県 50' 52"
第37回	悪天候により、レース中止						
第38回	清田 慎也 熊本県 1° 24' 48"	野田 昭和 鳥取県 53' 50"	百武 強士 佐賀県 46' 11"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 11' 52"	中山 和美 神奈川県 52' 59"	生馬 知季 岡山県 46' 21"
第39回	井上 聡 愛媛県 1° 27' 22"	野田 昭和 鳥取県 55' 46"	サミュエル・リゾ オーストラリア 46' 35"	出走者なし	木山 由加 岡山県 1° 17' 49"	見崎 真未 熊本県 1° 15' 37"	岸澤 宏樹 大阪府 48' 31"

偉大な選手名鑑



ゲオルグ・フロイント
GEORG FREUND
(オーストリア/Austria)

第1回大会男子総合優勝
(ハーフマラソン)



マーシャ・ビバード
MARCIA BEVARD
(アメリカ/U.S.A.)

第1回大会女子総合優勝
(ハーフマラソン)



グレゴール・ゴロンベック
GREGOR GOLOMBEK
(西ドイツ/West Germany)

第3回大会男子マラソン総合優勝
(初のフルマラソン)



キャンデス・ケーブル
CANDACE CABLE
(アメリカ/U.S.A.)

第3回大会女子マラソン総合優勝
(初のフルマラソン)



幸塚 直子
KOUZUKA NAOKO
(石川県/Japan)

日本人初優勝
(第3回大会ハーフマラソン女子総合優勝)



山本 行文
YAMAMOTO YUKIFUMI
(熊本県/Japan)

マラソン男子総合で8度の国内1位(第3~9回、12回大会)
最高位は総合4位(第5、6回大会)



故 アンドレ・ヴィジェ
ANDORE VIGER
(カナダ/Canada)

マラソン男子総合4連覇
(第4~7回大会)



林 誠二
HAYASHI SEIJI
(大阪府/Japan)

ハーフマラソン男子日本人初優勝
(第6回大会)



ハインツ・フライ
HEINZ FREI
(スイス/Switzerland)

マラソン男子総合10連覇、14度の優勝
(第10、11、13~22、28、29回大会) 世界記録保持者



室塚 一也
MUROZUKA KAZUYA
(北海道/Japan)

マラソン男子総合で日本人として初の3位入賞(第14回大会)
6度の国内1位(第14、15回、17~20回大会)



畑中 和
HATANAKA KAZU
(兵庫県/Japan)

マラソン女子総合及びT53/54で
5度優勝(第15、17、19、20、26回大会)



廣道 純
HIROMICHI JUN
(大分県/Japan)

マラソン男子総合で日本人として初の2位入賞(第16回大会)
3度の国内1位(第16、21、22回大会)



土田和歌子
TSUCHIDA WAKAKO
(東京都/Japan)

マラソン女子総合及びT53/54で6度優勝
(第21~23回、27、29、32回大会)



笹原 廣喜
SASAHARA HIROKI
(大分県/Japan)

マラソン男子T53/54で日本人初優勝(第26回大会)
3度の国内1位(第24~26回大会)



八巻 智美
YAMAKI TOMOMI
(福島県/Japan)

マラソン女子T52で5度の優勝
(第23回、25~28回大会) 世界記録保持者



エレンスト・ヴァン ダイク
ERNST VAN DYK
(南アフリカ/South Africa)

マラソン男子T53/54で3度の優勝
(第24、25、27回大会)



マヌエラ・シャー
MANUELA SCHAR
(スイス/Switzerland)

マラソン女子T34/53/54
当時の世界記録で初優勝(第33回大会) 世界記録保持者



マルセル・フグ
MARCEL HUG
(スイス/Switzerland)

マラソン男子T34/53/54で6連覇(第30~35回大会)
第38、39回大会2連覇中

協力者名簿

大分県警察本部
大分中央警察署
陸上自衛隊第41普通科連隊
日本赤十字社大分県支部
国立別府重度障害者センター
大分県障害者スポーツ指導者協議会
株式会社大分センチュリーホテル

大分県共同募金会
長洲郵便局

大分国際車いすマラソン通訳ボランティア Can-do
株式会社富士通エフサス
連合大分大分地域協議会
大分県ボランティア・市民活動センター
JA 共済連大分
ジブラルタ生命保険株式会社
社会福祉法人太陽の家
東京海上日動火災保険株式会社
第一生命保険株式会社
西日本電信電話株式会社
学校法人大原学園
新別府病院
大分市医師会立アルメイダ病院
大分大学医学部附属病院

大分県警察本部交通部交通機動隊
大分東警察署
大分市交通指導員連合会
社会医療法人恵愛会大分中村病院
株式会社日本航空
九州旅客鉄道株式会社

近藤 晴彦

オムロン太陽株式会社
大分みらい信用金庫
九州電力株式会社
鬼塚電気工事株式会社
有限会社アズメディック
清水建設株式会社
全日本空輸株式会社
大分リハビリテーション専門学校
大分航空ターミナル株式会社
株式会社コンカー
大分県立病院
医療法人社団唱和会明野中央病院
大分県医師会

佐藤加保子	井上 明	渡邊 靖子	園田 政弘	昇 健
姫野 孝一	白石 文治	佐藤 仁美	間藤 浩一	姫野 俊治
姫野美由紀	末廣 裕子	實崎 裕美	岩尾 明弘	宮崎 卓也
津賀 和夫	幸 和康	岡崎 典子	二橋 由紀	吉田由利子
徳部 和子	中尾 京子	渡邊 義徳	原田 邦博	河野 信俊
原田 牧子	中島 秀富	安東 義則	大渡 崇夫	後藤 唯
鶴林 弘二	小野真知子	坂本 晴弥	木村 郁世	石井 満
石井 浩美	阿南 初美	清水 千恵	河野 彰	原田 麗明
後藤 優和	池田 洋子	平塚 誠逸	今別府 勝	尾本 玲子
朝見 高樹	坂井 祐里	阿部 義徳	衛藤 公生	荒殿 亮二
西原 洋	姫野 千秋	佐々木初江	田北 敬史	田中 新子
渡邊 研治	佐藤 裕美	園田 真里	井上 隆	中島 博樹
染矢 和陽	掛谷 照彦	吉岡 里美	後藤 敬	川本由紀美
川本 公江	末光 愛	高橋 真澄	合澤 義人	一ノ瀬明子
中本 清則	Tomek Ziembra	川野あい子	西川 裕次	添田 翔子
深川登志夫	末松 幹哲	古井 繭子	小山 繁美	清永 義忠

明星国際ビューティーカレッジ
大分県身体障害者福祉センター
大分市立三佐小学校
大分県立大分商業高等学校
国土交通省九州地方整備局大分河川国道事務所
大分地方検察庁
大分地方法務局
大分土木事務所
大分市営陸上競技場
大分県職員駐車場運営委員会
大分県のぞみ園
住友化学株式会社大分工場
大分県立新生支援学校
理容ポスト
別府市下水道課
セブンイレブン大分日岡3丁目店
ダイワ運輸株式会社北九州営業所
社会福祉法人アップルミント

一文字渡船組合
一般社団法人大分県タクシー協会
大分バス株式会社
亀の井バス株式会社
大分市タクシー協会

有限会社大分タキ
株式会社ミキ

大分市中央町商店街

国土交通省九州運輸局大分運輸支局
大分市立舞鶴小学校
大分県立大分舞鶴高等学校
大分市営温水プール
二豊学園
日本製鉄大分製鉄所
王子マテリア株式会社
三菱商事太陽株式会社
大和リース株式会社
有限会社 OP 車椅子センター
国立病院機構大分医療センター
大分県立臼杵支援学校
昭和電工株式会社
社会福祉法人新友会
株式会社きんでん
ひろかわ和洗
日本郵便株式会社
社会福祉法人法治会

一般社団法人大分県バス協会
社団法人大分県個人タクシー協会
公益社団法人大分県トラック協会
大分交通株式会社

日進医療器株式会社
株式会社オーエックスエンジニアリング

NPO 法人キッズスポッチャ

その他、沿道住民・沿線企業・学校・施設等（以上順不同、敬称略）
皆様のおかげをもちまして大分車いすマラソン2020を開催することができました。
厚くお礼申し上げます。

本年、全国で発生しました災害により、尊い命をなくされた方々のご冥福をお祈りし、被災された皆様には謹んでお見舞い申し上げますとともに、被災地の一日も早い復旧・復興を心よりお祈りいたします。

大分車いすマラソン2020実行委員会

大分車いすマラソン2020事務局

〒870-8501 大分県大分市大手町3丁目1番1号

TEL 097-533-6006

FAX 097-506-1736

E-mail : kurumaisu-marathon@pref.oita.lg.jp

H P : www.kurumaisu-marathon.com



大 分 県

公益財団法人日本障がい者スポーツ協会日本パラリンピック委員会

一般社団法人日本パラ陸上競技連盟

大 分 市

大分合同新聞社

社会福祉法人大分県社会福祉協議会

大分県障がい者スポーツ協会

協賛各社



SONY

HONDA

三菱商事

DENSO

FUJITSU

新日本製薬

大分銀行

九電工

Canon

SHIPS

Gibraltar
ジブラルタ生命

清水建設

公益社団法人
大分県薬剤師会
Oita Pharmaceutical Association

マルミヤストア

ANA

JA共済

株式会社 別大興産

明野中央病院
AKENO CENTRAL HOSPITAL

東京海上日動

一生運のパートナー
第一生命

鬼塚電気工事
ONIZUKA ELECTRIC WORKS

phiten

日本生命

SAP Concur

笹川スポーツ財団
SASAKAWA SPORTS FOUNDATION

日本郵便

YAHOO!
JAPAN

NTT西日本